

社会科 NAVI

令和7年(2025年)度版

『中学社会』
教科書特集号



学びと指導によりそう教科書

日文のWebサイト



日文 🔍

※本冊子掲載二次元コードのリンク先コンテンツは予告なく変更または削除する場合があります。
 本資料は、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則り、配布を許可されているものです。
 令和7年(2025年)度版中学校社会科内容解説資料として扱われます。



心が動く、その先へ。

日本文教出版



特集

4 日文の新しい
『中学社会』教科書の特徴

8 新しくなった地理教科書は授業にどう生かせる?

筑波大学教授 井田 仁康
鳴門教育大学教授 伊藤 直之

14 新しくなった歴史教科書は授業にどう生かせる?

立命館大学教授 角田 将士
日本体育大学教授 田口 紘子

20 新しくなった公民教科書は授業にどう生かせる?

福井大学教授 橋本 康弘
広島大学准教授 川口 広美

26 デジタル教科書・デジタル教材のご案内

27 教師用指導書のご案内

好評連載

28 地域の歩き方 vol.12

廃川「佐屋川」をめぐる

愛知県愛西市立佐織西中学校校長 中山 政彦

30 ようこそ! 歴史史料の世界へ vol.36

長久保赤水が伊能忠敬より42年も前に作った日本地図

長久保赤水顕彰会会長 佐川 春久

32 現代社会ウォッチング vol.22

日本の賃金

同志社大学教授 野間 敏克

34 授業にプラス! 身近なSDGs

県民衛星「すいせん」で福井を守る

株式会社ネスティ

新しい 中学社会教科書

2025年度より中学校社会科教科書が新しくなります。

日本文教出版の新しい教科書ではどこが変わったのか、詳しく解説します。

● 令和7年度版『中学社会』編集基本方針

基本方針

1

生徒が主役の楽しい学び

単元を貫く問いをつかみ、
主体的・対話的で深い学びへと導きます。

基本方針

2

社会科授業を手厚くサポート

生徒は基礎的・基本的な知識・技能が身につく、
教師は指導と評価のポイントが一目でつかめます。

基本方針

3

よりよい社会と豊かな人生の創造へ

持続可能な社会を実現し、
豊かな人生を切り開くための生きて働く力を鍛えます。



導入ページ

導入ページ「学習のはじめに」では、資料の読み取りや話し合いを通して「単元を貫く問い」を立てる活動を行います。また、立てた問いの答えを予想することで学習を見通し、内容のまとまりでの学習を進められるようにしています。



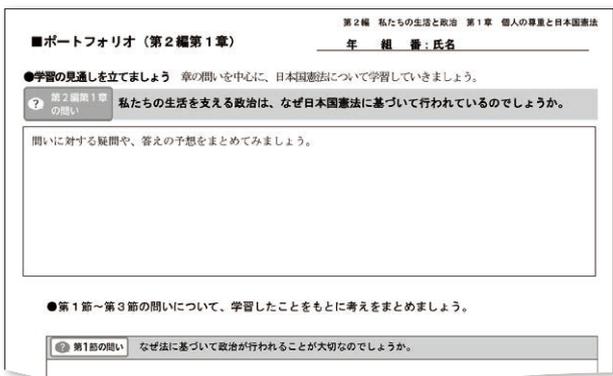
指導と評価の 一体化を図る新しい教科書



QR コンテンツ

ポートフォリオ

生徒が学習の見通しを立て、毎時間の学習後に自身の考えがどのように変わったかを振り返ることを目的とした、学習成果や学習履歴を記録するワークシートです。



QR コンテンツ

イントロダクションムービー

各節の冒頭に設置している導入動画です。これから始まる学習内容の見通しをもったり、生徒の興味の喚起に役立てられるようにしています。



Q 指導と評価の一体化って何?

A 日々の授業の中で児童生徒の学習状況を評価し、その学習評価を児童生徒が自身の学習改善に生かしたり、教師が自身の指導改善に生かしていくことで、教育の質の向上を図るという考え方。

評価をペーパーテストのみで行うのではなく、内容のまとまりごとの評価規準を観点別学習状況の評価に基づき作成し、児童生徒一人一人のつまづきや伸びについて形成的な評価を行っていくことが重要。

QR コンテンツ

確認小テスト

主に太字語句に関連する四択問題です。毎見開きに設置しており、授業の復習や前時のおさらいとして授業でも家庭学習でも利用できます。

問題
この「せいはいしきちく じやうえい 御成敗式目(貞永式目)」という法律は、(①)と(②)が制定した。正解!
武士の慣習に基づき、商家人の権利・義務・領地の裁判などを当時の執権が定めました。

正解!
① 律令の改正
② 北条氏
① 律令の改正
② 源氏
① 武家独自の法
② 北条氏
① 武家独自の法
② 源氏

次へ

まとめ・ふり返りページ

まとめ・ふり返りページでは、その内容のまとまりでの学習成果を生かして、「単元を貫く問い」を解決する活動を行います。生徒が自分の考えの変容をふり返ることができるようにし、主体的に学習に取り組む態度の評価に対応できるようにしています。

3年 近畿地方の学習をまとめよう

自分の考えをまとめるために必要な知識を確認しよう

STEP 1 下のキーワードを参考にして、知識を整理しよう。

STEP 2 下の問いを参考に、自分の考えを整理しよう。

STEP 3 上の問いを参考に、自分の考えを整理しよう。

自分の考えをまとめる

近畿地方の生活や慣習は、歴史的背景からどのような影響を受けているのでしょうか。

自分の考えをまとめる

近畿地方の生活や慣習は、歴史的背景からどのような影響を受けているのでしょうか。

第3単元の学習をふり返ろう

体感を重視した観光ツアーを企画しよう

本文ページ

1 列強の動向とアジア 一 英独法露は成功させよ

19世紀後半には、イギリスだけでなくフランス・ドイツ・アメリカでも産業が急速に発展しました。これらの国々は、多額の大量資本と大銀行が国の経済を支配しました。また原料や製品の市場を海外に求め、鉄道・船山・支那をめぐって住民を食い潰す競争を激化させ、多くの利益を得ようとしてきました。これらの国々はロシアを最大の対立国は、地味な競争をめぐってアジアやアフリカの領土をめぐり、列強に立対していきまし。このような動きを新植民地主義といひます。

日本は、近代国家として列強とも対等な地位を得るため、最終に列強と対人た不平等条約の改正に積極的に関与していきまし。1871年(明治4年)、アメリカが差別に及ぶ条約に同意し、日本が対等条約としてのかたがたを認め、1880年代には、領土の獲得を遂げ、列強に並ぶ国として、日本の国際的地位を確立しました。

本文ページについては次のページへ

より詳細な情報は新しい教科書についての特設サイトをご覧ください。

日文 🔍



心が動く、その先へ。

授業や生徒の思考の流れ を重視した本文ページ

本文は1授業時間を見開き2ページとし、この1時間で何を学ぶのか、
どのようなことに着目して学習を進めるのかを「学習課題」「見方・考え方」で明確に示しました。
右ページの側注欄には学習課題に対応した「確認」「表現」コーナーを設け、
「編・章・節の問い」に答えるための手がかりとなるようにくふうしています。

学習課題

本文ページで何を学んでいくのか
を示しています。この課題を考えなが
ら、学習を進めていきます。



見方・考え方

学習課題の解決に向けて手がかり
になる主な「見方・考え方」の例を
示しています。



南北と東西の通り
に沿って、街
なみが整然と広
がっているね。

1 京都の街なみ (2022年)

2 現在にいきづく歴史的都市の特色

学習課題 歴史的都市である京都や奈良には、どのような特色があるのでしょうか。

見方・考え方 1 地域どうしのつながり

かつて首都であった歴史が、地域の景観や文化にどのように影響しているのに着目しましょう。



2 地方別の重要文化財の数 (文化財指定等の件数) 2022年) 資料活用 全国の重要文化財の約何割が近畿地方にあるか、計算しましょう。

豊かな歴史に
支えられた近畿地方 古くから日本の中心地として発展した近畿地方には、奈良の平城京や京都の平安京など、各地に都(首都)がおかれました。京都は、首都を意味する「京」と「都」が都市名になりました。「近畿」という名称も、首都のまわりの地域を意味する畿内という言葉がもとになっています。京都・大阪は「県」ではなく、中心地の意味をもつ「府」とよばれています。

歴史の長い近畿地方には、貴重な文化財が集中しています。京都や奈良には古くから続く寺院や神社も多く、その一部は世界文化遺産に登録されています。

千年の歴史をもつ京都 京都は、日本の歴史のなかで、最も長いあいだ首都であった都市です。およそ1200年前につくられた平安京から発展しました。東西南北にのびた碁盤の目のようにまっすぐな道路や、四条通、五条通といった道路の名前は、

208 歴史 近畿地方が日本の政治・経済・文化の中心だった時代はいつごろでしょうか。

Q 見方・考え方って何？

A 平成29年告示学習指導要領にて全ての教科等において示された、主体的・対話的で深い学びを実現するための鍵となる視点や方法。中学校社会科の場合は地理的分野では「位置や分布」など、歴史的分野では「時系列」

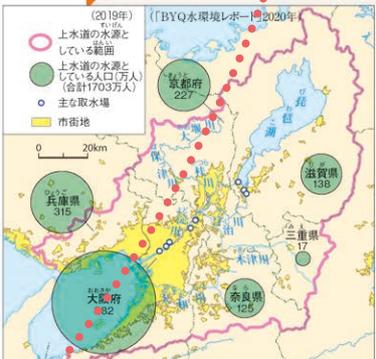
など、公民的分野では「対立と合意」などが例示されており、社会的な事象を捉え、考察したり構想したりする際にこれらの見方・考え方を働かせることによって主体的・対話的で深い学びを実現することができる。

二次元コード

二次元コードを読み込むと、弊社webサイト上で公開しているデジタルコンテンツを利用することができます。前頁で紹介している「ポートフォリオ」「イントロダクションムービー」「確認小テスト」のほか、地理・歴史・公民それぞれの分野で内容に応じた豊富なコンテンツをご用意しています。

本文ページでは、二次元コードは必ず見開きタイトルの横に置いています。また、関係するデジタルコンテンツが公開されている箇所には、タブレットマーク  動画を置き、その内容を示しています。

地理 琵琶湖の環境を未来の世代へ



日本の歴史のなかで、琵琶湖・淀川水系は、京都から大阪湾へ、そして京都から東に向かう水上交通のルートとして、重要な役割を果たしてきました。その水は、上水道の水源として、また水力発電の動力として用いられています。琵琶湖は、ラムサール条約に登録されています。未来に琵琶湖の貴重な自然環境を伝えるために、湿地やヨシ群落の保全など、さまざまな努力が積み重ねられています。

琵琶湖・淀川水系を水源としている範囲 近畿地方の約7割の人々の上水道の水源として、なくてはならない存在です。琵琶湖では、水質保全の取り組みも進められています。

資料活用 上水道の水源としている範囲を、P.204の1と比べましょう。



日本料理(和食)の食育授業(2019年 京都市北区)



茶を扱う店が立ちならぶ平等院の参道(2020年 京都府宇治市)



平城京の範囲と現在の市街地

条坊制という古代の都市計画のなごりです。

長い歴史のなかで日本の伝統文化ははぐくまれてきたことも、京都の特色の一つです。茶道や華道には、京都に本部をおく流派が多くみられます。日本料理(和食)や和菓子、織物の伝統を守り、未来に伝えようとしている店舗や業者も少なくありません。和食は、ユネスコ無形文化遺産に登録されています。

京都の周辺では、都市に住む住民のために野菜を育てる近郊農業が盛んになりました。そこで守り伝えられた品種は、京野菜とよばれています。京都の南にある宇治を中心とした地域では製茶業が盛んとなり、現在では宇治茶の名前で世界的に親しまれています。

日本の歴史のふるさと、奈良 奈良には、東大寺、興福寺、春日大社など、およそ1300年前の平城京の時代から続いている寺院や神社があります。平城京が都でなくなった後も、寺院や神社と周辺の町は残り、宗教・文化の中心地の一つとして、北にある京都に対して南都とよばれ、現在の奈良へと発展してきました。平城京の中心であった平城宮跡では、発掘調査や建物の復元が進み、かつての景観が想像できるように整備されています。

確認 京都や奈良が歴史的にどのように発展してきたか、本文からゆき出しましょう。

表現 歴史的背景をふまえて、京都や奈良の人々の生活や産業の特色を説明しましょう。

本文は、十分な文字量を確保し、平易な表現を用いて生徒の読み取りを支援しています。



確認 **表現**

学習課題に対応し、本文ページの学習を確かにする問いを示しています。学習の最後に取り組むことができます。

Q 主体的に学習に取り組む態度はどうやって見取るの？

A 国立教育政策研究所『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』では、①粘り強い取り組みを行おうとする側面、②自らの学習を調整しようとする側面の二つの側面から評価することが求められている。単元の導入で見通しを持って学習に取り組もうとしているか、単元の終結部分で自己の学習を振り返り、学習を調整しようとしているかなどの場面での評価が想定されている。



井田仁康先生 伊藤直之先生
に聞きました



新しくなった 地理教科書は 授業にどう生かせる？

筑波大学教授
い だ よし やす
井田 仁康



専門は社会科教育学、地理教育。博士(理学)。筑波大学技官、上越教育大学助手、講師、助教授、筑波大学講師、助教授を経て現職(2024年3月で定年退職)。平成29年告示学習指導要領の改訂にも関わる。日本文教出版『中学社会』教科書著者

鳴門教育大学教授
い と う な お ゆ き
伊藤 直之



専門は社会科教育学、地理教育。岐阜工業高等専門学校講師、准教授、鳴門教育大学准教授を経て現職。平成29年告示学習指導要領の改訂にも関わる。日本文教出版『中学社会』教科書著者

Q1 新しい日本の地理教科書では
どのような試みをしていますか。

A1 単元の追究に入る前の導入を丁寧に
■基礎的知識を習得してから生徒自ら「問い」を見出す構成

井田 社会科では、生徒が主体的に課題を見出すことで課題を追究する意欲が生まれ、学習が進みます。第3編第3章第5節「関東地方」を例に説明しましょう。

第1見開きには、関東地方の特色ある写真が載っており、自然環境や人々の生活とのかかわりを大観し、関東地方の特徴を捉えています。

第2見開きで関東地方の基礎的知識を概観します。授業の導入で、地形地図と人口密度・交通地図を見比べることで関東地方に人口が集中する理由の一つの解答が見つかります。また、近畿地方や中部地方との比較を通して、関東地方の特色を

見出せます。

第3見開きで関東地方の地域的課題を見出します。従来の教科書は、学習課題がどのような理由で設定され、単元としてどのような課題を解決したいのかがわかりにくい構成でした。新しい日本の教科書では、単元として何を考察して課題解決に向かうのかを明確にし、さらにはその課題を生徒が自ら見出せるよう工夫しています。関東地方の単元では、自然環境と人々のかかわりから地方を大観、すなわち課題を追究するための基礎的知識を習得し、単元のテーマである人口や都市へと焦点化し、関東地方の人口分布の特色と課題が見出せるように構成されているのです。

第4見開き以降、人口や都市を中核として関東地方の特色をとらえ、課題を追究していきます。まずは、関東地方の人口集中の特色と周辺地域への影響を学びます。人々の生活の便利さとともに課題が見出され、その課題について意見交換したり議論したりします。ここから将来の在り方について思考を広げ、課題についてなされている対応



図1 地理教科書P.188-191
第3編第3章第2節「中国・四国地方」
大観ページ・特設ページ・「節の問いを立てよう」



第3見開き（特設ページ・節の問いを立てよう）



「なぜ」型の問い

Q2 「節の問い」はどのように立てればよいですか。

A2 「どのような」問いを解決するために「なぜ」問いをカスタマイズ

■生徒がオリジナルな問いを立てて追究することで「個に応じた学び」を体現

や、社会を構成する一員としてどんなことをしていかなければならないのかを考察することにつながります。すなわち、事象の把握(知識の習得)、それによりどのような特色とどのような課題がみられるか(分析)、それらの課題についてどう対応すべきか(持続可能性をみすえた未来への思考)といった追究になっているのです。

まとめページでは、課題の把握と「知識・技能」およびそれを活用した議論(ディベート)での「分析」、未来志向の「思考」の一連のプロセスを整理できます。

このように新しい教科書は、大観から導入、問いを立てる、追究しまとめるといった三分野共通の問いの構造に加え、地域の理解、地理的な見方・考え方に着目した思考、持続可能な都市づくりといった観点を組み込んだ地理独自の単元構造にもなっています。

伊藤 地理に限らず社会科を教えることが得意な先生方の多くは、単元の「導入」に時間をかけます。そのわけは、井田先生が言うように、単元の導入を丁寧に行うことで、学びに向かう推進力を培えるからです。新しい教科書の最大の特徴は、社会科を教えることが得意な先生の「企業秘密のプロセス」を可視化したところにあります。基礎的知識、課題の発見、課題解決に向けた思考は、三位一体です。先生方には、新しい教科書を手にとり、「内容を早く学ばせたい」という気持ちから、「問題意識や課題を見出すプロセスを学ばせたい」という気持ちに転換してほしいですね。

伊藤 これまで地理の教科書では、「中国・四国地方はどのような特色をもったところでしょうか?」という形式の問い(「どのような」型の問い)が一般的でした。そのような問いは、確かに中国・四国地方を初めて学ぶ生徒にとって、最初に向き合うべき問いだといえます。しかし、この「どのような」型の問いは、地理を暗記する学習へと誘導しかねません。そこで、新しい教科書では、導入ページにおいて、「中国・四国地方では、どのように交通網・通信網を生かして、地域の活性化が進められているのでしょうか。」という「どのような」型の問いに加えて、上記の問いを解決するために、「なぜ」型の問いを、生徒自らに立てさせる場面を設けました。教科書には「なぜ交通網・通信網の整備は地域活性化につながったのか」という問いの例が示されていますが、これはあくまでも例示に過ぎないことに留意する必要があります。

ここで強調したいのは、問い立てをするのは教師ではなく生徒だということです。生徒自らが疑問を感じたことや、関心を持った問いであるならば、学習に対して「より主体的に」向き合うことになるでしょう。生徒の数だけ問いがあるのが煩雑なら、クラス全体でオリジナルな問いを立てて共有することもできますし、そのほうが現実的かもしれません。いずれにせよ、教科書に示された問いを受け身で消費するのではなく、問いをカスタマイズする機会を保証しているのが、新しい教

科書の特色です。クラスやグループでオリジナルな問いをつくり学習に向かう姿は、まさに「個に応じた学び」を体現しているといえます。

問いを立てさせた以上、その問いに対する答えを表現させていく必要があります。そのために、各単元のまとめページでは、思考・判断を表現する機会を設けています。ポートフォリオを活用することで、生徒自らが単元を通して学習を振り返ることができ、教師は「主体的に学習に取り組む態度」を評価することが可能になります。

井田 「主体的」の捉え方は様々です。例えば、先生が問いを発して、その問いに答えようと生徒が調べたり考えたりすれば、生徒が「主体的」に学習したということもできるでしょう。しかし、伊藤先生の言葉によれば、それは「受け身型」の「主体的」となります。日文の教科書が目指しているのは、生徒自らが問題意識をもって問いを立て(課題を設定し)、その問いの答えを導いて(表現して)いく「能動型」の「主体的」です。まずは基礎的な知識に基づいて、そこでの課題を見出し、その「問い」に答えられれば将来が見えるような「問い」を立てられるようにします。ここが生徒の「主体的」な授業となるかの鍵となり、教師の支援が求められ、最も重要な教師の役割の一つといえるでしょう。

地理の学習には、 未来志向の 思考が 求められる



Q3

これまでの日文の地理教科書の
変わらない良さはどこにありますか。

A3

地理学習の基礎を大切にしつつ
構想までカバー

- 地理的な見方・考え方の丁寧な解説
- 教科書全体を通した地理的技能の確実な習得
- 単元の最後に設定した考察・構想のコーナー

井田 学習指導要領では資質・能力の中でも思考力が重視されています。その思考力を支える大きなものが「見方・考え方」です。地理的分野では「社会的事象の地理的な見方・考え方」として、位置や

分布・場所・人間と自然環境との相互依存関係・空間の相互依存作用・地域があげられています。この5つの観点から事象を分析・考察することが地理となるのです。言い換えれば、地理的な見方・考え方は、地理独自の観点であり、こうした地理的な見方・考え方を習得することにより、社会的事象を地理的に理解し、様々な課題の解決にも寄与することができるのです。これまでの日文の教科書でも、地理的な見方・考え方を大切にしてきましたが、新しい教科書においてもこうした地理的な見方・考え方は引き続き重視されています。



図2 地理教科書P.240「学習課題」と「見方・考え方」

新しい教科書では、巻頭のイラストで、わかりやすく地理的な見方・考え方が解説されています。令和3年度版教科書でも同様のページがありますが、新しい教科書ではよりわかりやすくなっています。また、本文ページにおいても、これまでの教科書を踏襲し、学習課題ごとに主に着目すべき「見方・考え方」を明確にしています。生徒に地理的な見方・考え方を習得してもらい、地理の特徴、有用さをわかってもらうという構成は、日文の地理教科書の変わらない良さの一つです。

また、日文の地理教科書では、従来から「スキルUP」コーナーを設け、地理的技能を意識して習得できるようにしてあり、新しい教科書でも変わらない良さとして継続しています。地理的技能は年間の授業を通して育成されるものなので、「スキルUP」も教科書の随所に配置されています。

地理的技能には地図活用に関する技能や地理情報の活用に関する技能が含まれます。地域調査の手法についても「スキルUP」で習得していくことができます。また、グラフや地図を重ね、比較して考察する技能も地理的技能です。例えば、雨温図の読み取りの「スキルUP」ではグラフを重ね合わせて比較しながら考察することができるように工夫されています。グラフや地図を重ね合わせることはGIS(地理情報システム)と関わっており、デジタルな思考にもつながっています。

地理の学習には、日本や世界の現状を理解したうえで、課題についてどう考えるか対話したり、自分ごととして捉えたりする(主体性)こと、さら

には、持続可能な社会とするためにどうすべきかといった未来志向の思考が求められています。日文の地理教科書では、主体的、対話的そして未来志向的な学習となるように、令和3年度版教科書に「アクティビティ」コーナーを設けていましたが、新しい教科書ではよりバージョンアップした「議論してみよう」コーナーを設け、地理が現状理解だけでなく、議論などを通して主体的で対話的で、未来志向の学習であることを明確に位置付けています。これにより、生徒の受動的な授業ではなく、能動的な授業となっていくことができます。

伊藤 私がこの場を借りて強調したいのは、地理学習も地理学者が行うような形式や方法に転換するべきだということです。それは、子どもたちを地理学者に育てようということではありません。例えば、出演者がブラブラ歩きながら地域の在り様に迫る某人気番組で、訪ねた地域において彼が「何」に着目しているか、その事象が「なぜそうなっているのか」と探究を続けていくプロセス。これこそが地理的な見方・考え方を働かせている姿だと思います。教科書巻頭の「地理的な見方・考え方」のイラストは、1年生の最初の授業で話題にして終わるのではなく、第3編第4章「地域の在り方」の学習まで、何度も何度も(生徒だけでなく先生も)参照してほしいところです。1年生の1学期よりも2学期のほうが、2年生の1学期よりも2学期のほうが、地理的な見方・考え方を働かせることと、地理的技能を駆使することの両方がスパイラルアップで発展していくのが理想です。

Q4 地理の教科書QRコンテンツにはどのようなものがありますか。

A4 単元の導入に役立つ動画、地理的技能の習得に役立つコンテンツ

- イントロダクションムービー
- 雨温図の重ね合わせコンテンツ など

伊藤 非常に使いやすいものの1つに、イントロダクションムービーがあります。例えば、第3編第3章第2節「中国・四国地方」のイントロダクションムービーは、徳島県鳴門市を対象に、現地の人々(大塚国際美術館の学芸部長)へのインタビューを通して、本州四国連絡橋開通のメリットとデメリット、そして四国新幹線構想の是非に着

目させるきっかけ作りになります。1時間目で中国・四国地方の自然環境を大観した後に、このムービーを視聴させることで、Q2で示した「節の問い」を生徒自らが立てることにも寄与しますし、中国・四国地方を交通・通信の観点で捉えていく動態地誌的学習の導入としても有用です。

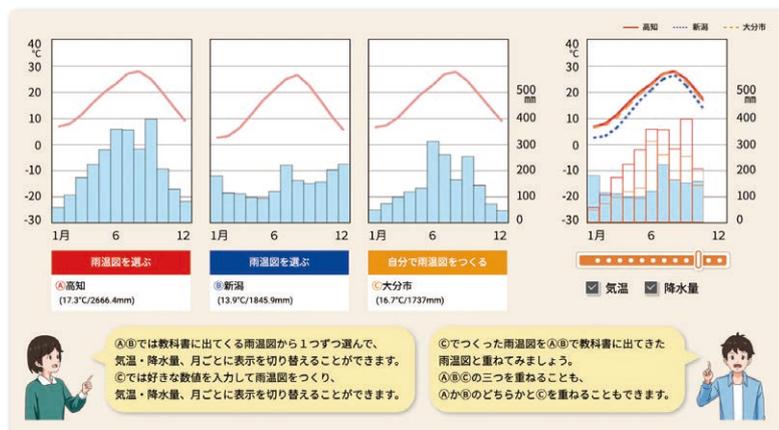


図3 雨温図の重ね合わせコンテンツ

次に生徒に使ってほしいコンテンツとして、教科書に掲載されているすべての雨温図に対応した「雨温図の重ね合わせコンテンツ」があります。雨温図といえば、地理的分野における基本的な内容でありながら、グラフの読解の難しさから、生徒に敬遠されていることが多いのではないのでしょうか。その原因として、生徒にとって雨温図は常に読み解くものであったこと、つまり受け身の学習であったことが考えられます。繰り返しになりますが、アクティブラーニングの主体は教師ではなく生徒に他なりません。地理的技能を習熟させるためには、生徒自らが雨温図を描いてみるのがその第一歩です。雨温図の重ね合わせコンテンツを利用すると、生徒はタブレット上で任意の都市を選ぶことで、即座にその都市の雨温図を表示させることができます。自分の住んでいる市区町村周辺の気温と降水量の数値を入力するだけで、身近な地域の雨温図をあっという間に描くこともできます。さらに、複数の都市の雨温図を重ね合わせて表示できるので、例えば世界の主要な都市と自分の住んでいる都市とでは気温・降水量がどのように異なっているかを、作業的・体験的に把握することができるのです。

その他、グラフ、写真の読み取りなどの地理的技能を習得するためのコンテンツが多く収められています。もしかしたらこれまでに地理嫌いを生み出していた原因は、地理的技能のとっつきにくさがあったのかもしれません。解決に向けた処方箋は「習うより慣れよ」です。デジタルコンテンツは作業的・体験的な学習の場を生み出し、主体的・対話的で深い学びの入り口となることが期待

できます。

井田 デジタルコンテンツにより、教科書活用の幅は大きく広がりました。文字資料だけでなく、動画資料も取り入れることで、生徒はより一層リアリティをもって地理的事象を感じることができるでしょう。現地の人のお話を、顔を見て聞くことは、導入としても、調査活動の資料としても、まとめの確認としても使えます。

また、気温図の重ね合わせコンテンツでは、個々の地理的事象を重ね合わせることで、事象間の関係性を見出すことができます。生徒が試行錯誤しながら重ね合わせることで、生徒自らが関係性を見出すことができるのです。デジタルコンテンツをうまく使うことによって、生徒の主体性や地理の見方・考え方を飛躍的に向上させることができますでしょう。

「地理をすること (Doing Geography)」 が地理の楽しさ であり、醍醐味



Q5

地理を楽しく学ぶために、
どんな工夫をしていますか。

A5

学問としての「地理」の楽しさに
触れられる

■地理的な見方・考え方を働かせながら、社会の様子や課題を追究するプロセスを経験できる

伊藤 社会科のなかでも、歴史や公民と違って、地理は今を生きる人々や、人々の生活の様子を「視覚的」に捉えることが必要な分野です。そのため、地理的分野の教科書は、写真や地図、グラフなどの資料を多く掲載してきました。その一方で、人々や地域の様子については、その情報の「鮮度」も求められます。数年経てば、統計数値や都市の名称も変わりますし、主要な産業の趨勢や都市・村落の形態、気候や地形の様子も変貌するかもしれません。現在進行形の社会の様子を学ぶのが地理の楽しさであり、醍醐味でもあります。

そもそも、地理とは何なのでしょう。誤解を恐れずに言えば、「地理学者のやっていることが

地理」そのものです。地理学者とは何をしているのか。それは決して地名や物産の暗記ではありません。現在進行形の社会に対して、どこに(位置・分布)、どこにつながっている(空間的相互依存作用)などの「見方・考え方」を働かせて、見学・観察や聞き取りを通してデータを得て、グラフや地図表現を行い、それを根拠にして地域の特徴や課題を指摘していく。そのような、地理学者が行っている本来の作業や考察の過程こそが地理そのものです。日文の地理教科書は、学習指導要領が求めている「地理的な見方・考え方を働かせること」を最も忠実に体现した教科書です。そこには、地理が本来備えている学問的な楽しさが反映されています。

井田 地理学者は「地理が楽しい」と思って地理学を研究しているので、「地理学者がやっている地理」が楽しい地理というのは「なるほど」と思います。追究することで新しい知識を得る、そのプロセスが大事で、研究の結果出てきた結論、新しい知識を覚えることが楽しいわけではありません。学校での地理の学習ですでに研究の結果でできた新しい知識を学習することが多くなります。しかし、現在進行形の事象が地理に関わり、自分たちの生活と関わっている、つまりは「自分ごと」として地理の学習に取り組めば、広い意味で「地理が楽しい」ということになるのでしょうか。新しい知識を得るまでの追究のプロセスを経験すること、地域での事象を「自分ごと」として捉えられることが、地理を楽しく学ぶことなのだと思います。

Q6

持続可能な社会については
どのように扱われていますか。

A6

持続可能な社会をめざす
未来志向の教科書

■巻頭で持続可能な社会について解説
■世界・日本各地の持続可能な社会をめざす取り組みを特設ページやコラムで紹介

井田 日文の教科書は、未来志向の社会科として、教科書全体を通して持続可能な社会を重視しています。持続可能な開発目標、つまりSDGs (Sustainable Development Goals)は、政治など大人社会だけに任せず、未来に生き、将来を担う子どもたちも一緒に考えていく必要があります。

教科書では、まず巻頭の「持続可能な社会と私たち」で、持続可能な社会について紹介し、SDGsの17の目標に関する具体的な事例を写真で紹介

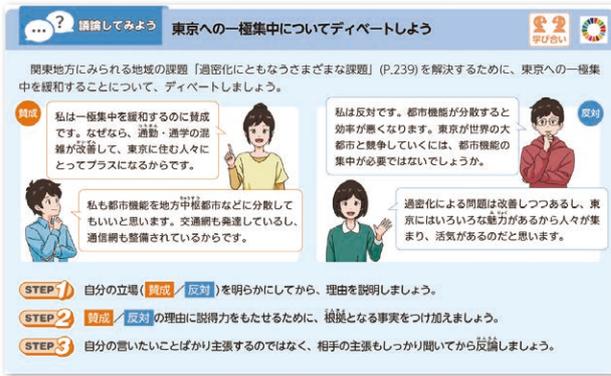


図4 地理教科書 P.244 「議論してみよう」

し、SDGsを視覚的に概観できるようにしていません。その際に日本だけでなく世界にも目を向け、地球全体で取り組んでいくことを意識できるようにしています。また、SDGsに関連して、二酸化炭素を増やさない「カーボンニュートラル」の取り組みや、DX(デジタルトランスフォーメーション(Digital Transformation))、つまりデジタル技術やデータを活用し、技術革新を通して社会や暮らし全体をより便利にする取り組みもイラストで紹介しています。このように、持続可能な社会をめざす未来志向の教科書であることを、巻頭で宣言しています。また、教科書全体を通して、特にSDGsと関わる箇所に「SDGsマーク」をつけ、SDGsを意識しながら学習できるよう工夫しています。

第2編第2章「世界の諸地域」と第3編第3章「日本の諸地域」では、州・地方ごとに「持続可能な地域をめざして」という特設ページを設けています。例えばヨーロッパ州ではEU全体でのSDGsの取り組み、オセアニア州ではニュージーランドの多文化社会についての取り組みが紹介されます。それぞれの州で取り上げる事例は、都市レベル、国レベル、国の連合体レベルと、様々な地域レベルの例が取り上げられているのが特徴です。「持続可能な地域をめざして」は教科書全体では16箇所におよび、地域の環境に応じて様々な持続可能な地域をめざす方策があることを紹介しています。これによりその地域に適した最良の方策で持続可能な社会をめざせる人材を育成したいと考えます。このページをより一層意義のあるものにするためには、考察する基盤となる世界や日本でのそれぞれの地域的特色を学習することが大変重要となるのです。

伊藤 地理学習と「持続可能な社会」が関連する箇所は、すべてだと言っても過言ではありません。持続可能な社会をめざす教育は、生徒の学ぶ「姿」や「方法」にも関連しています。例えば、日文の教科書では単元のまとめページで思考ツールが用いられていますが、ツールミン図式などは、対立する見解において合意を探るためのツ

ルに他なりません。それらを用いて次代を生きる生徒どうして持続可能な社会をめざす姿や、追究の在り方それ自体もSDGsの一部です。知識・技能だけでなく、表現力や態度を涵養する観点でも、日文の教科書にはSDGsに向けて有効な学びとなる箇所が多々ありますので注目してほしいです。

Q7 最後に、この教科書を使う先生方へのメッセージをお願いします。

井田 地理の授業は、知識を習得することだけが目的ではありません。生徒が主体的に地理的事象を考えていくこと、議論(対話を含む)を授業で展開することも重要です。しかし、「考察する」ことが強調され、考察するべき知識が欠けたり少なかったりすると議論は深まらず、考察も深まりません。議論の前に基礎的知識を習得することもあります。議論している中で議論を深めるための知識の必要性を感じて、調べ学習などを通して知識を習得することもあるでしょう。つまりは、知識習得と思考を促す議論とをどのようにバランスよく学べるかが、「持続可能な社会」を築く生徒を育成する鍵です。生徒の特性を踏まえて、その学習のバランスを図ることは、生徒に対峙する教師にしかできないことで、教師が機械やAIではなく、人間であることの所以だと思っています。教科書は、そういった先生方によりそい、支援していく教材です。先生方と教科書が強いタッグを組んで、持続可能な社会のための教育ができればと願っています。

伊藤 これまでの社会科が採っていた暗黙の授業スタイル(教師が教科書を使って問いを示し理解させる)は、そろそろ変えていくべき時期に来ています。新しい授業スタイルは、生徒が教科書を使って問いを立て、理解を得ていくようなアクティブラーニングであり、教師はその学びのサポーターやコーディネーターであるべきです。これまでの暗黙の授業スタイルを当たり前のこととみなしている先生方には、おそらく新しい日文の地理教科書(とくに導入のページ)は奇異に映ることでしょう。生徒自らがオリジナルな問いを立てていくことは、社会科授業が単線型から複線型へと移行していくことを意味します。そして、必ずしも正解が想定されたゴールではなく、多様な最適解が想定されたゴールへと導いていく学習が待っています。1つの正解がゴールにないと教師は不安に思うかもしれませんが、しかし、不安は新しい変革に向けたチャンスです。日文の教科書が用意しているデジタルコンテンツやポートフォリオを有効に活用して、新しい学びへと舵を切ってみませんか？



角田将士先生 田口紘子先生
に聞きました



新しくなった 歴史教科書は 授業にどう生かせる？

立命館大学教授
かくだ まさし
角田 将士



専門分野／社会科教育学
主要著書／『戦前日本における歴史教育内容編成に関する史的研究—自国史と外国史の関連を視点として—』（風間書房、2010年）、『NG分析から導く社会科授業の新公式』（明治図書、2022年）、『学校で戦争を教えるということ 社会科教育は何をなすべきか』（学事出版、2023年）
日本文教出版『中学社会』教科書著者

日本体育大学教授
たくち ひろこ
田口 紘子



専門分野／社会科教育学
主要著書／『現代アメリカ初等歴史学習論研究』（風間書房、2011年）、『社会形成科社会科論』（共著、風間書房、2019年）など
日本文教出版『小学社会』『中学社会』教科書著者

Q1 新しい日本文の歴史教科書ではどのような試みをしていますか。

A1 生徒の主体的な学びを支援

- 教科書全体で「学びのプロセス」を可視化して、見通しをもった学びを実現
- 思考ツールを活用し、スモールステップで時代の特色を考え、論理的思考を育成

角田 学習指導要領では、「何を学ぶか」ということ以上に、学習の成果として、「何ができるようになるか」が重視されています。その趣旨を踏まえて、令和7年度版の教科書は、歴史的分野の学び全体を一つの探究活動として捉えた構成にしています。

第1編「私たちと歴史」において、歴史学習の基礎となる「年代のあらわし方」や「時代区分」

の意味や意義について、また、歴史学習のなかで働かせる「歴史的な見方・考え方」について解説しています。続く第2～6編では、それらを活用して各時代の特色を捉えていきます。そして巻末の「『歴史との対話』を未来に活かす」において、よりよい未来の創造のためには何が大切か、歴史学習を踏まえた構想を行うようにしました。また、各時代について学習する第2～6編では、「学習のはじめに」において、その編や章などの単元を貫く問い（Main Question）を設定し、その解決のために必要となる下位の問い（Sub Question）を節ごとに、さらに下位の問い（Sub-Sub Question）を1授業時間ごとに設定し、「まとめとふり返し」において、最初に設定した単元を貫く問いの解決に取り組む構成にしました（図1）。

こうした内容構成や構造化された問いによっ

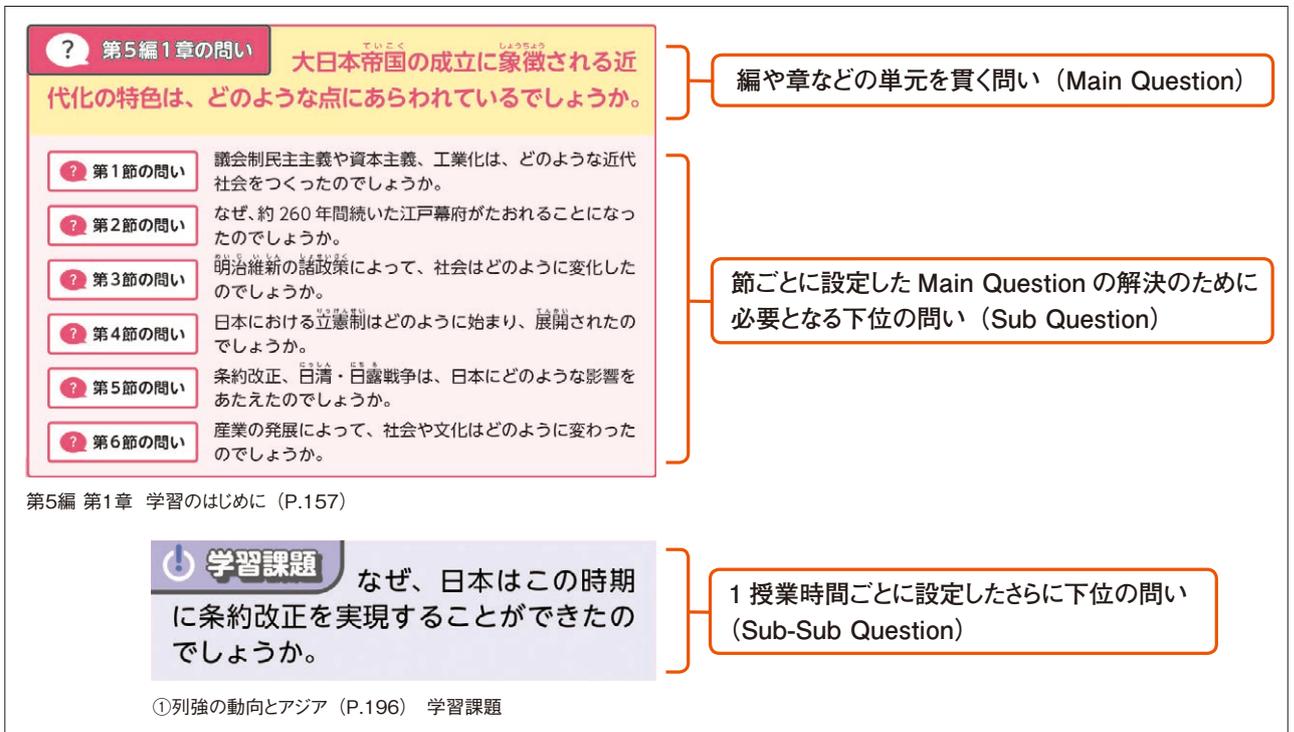


図1 構造化された問い

て、教科書全体で「学びのプロセス」を可視化し、学習に対する見通しをもたせることで、生徒の主体的な学びを支援するようにしたことが特徴です。

田口 第2～6編の節ごとに設定されている下位の問い(Sub Question)は毎見開きの左ページ下部に示しているの、単元を貫く問いを常に意識して1時間ごとの授業に取り組むことができますね(図2)。

他にも学習指導要領では「各時代を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現」することが求められています。新しい日文の歴史教科書ではステップを踏んで時代の特色が文章にまとめられるようサポートしています。特に第3～6編の「まとめとふり返り」では、ロジックツリーやダイヤモンドランキングといった思考ツールを用いて生徒自らが特色を見出した後、文章で時代

の特色をまとめるよう導いています。思考ツールの使い方を解説したQRコンテンツも準備しているので(→P.17 図5)、生徒が論理的に思考を整理できるような役立ててほしいです。

Q2

これまで日文の歴史教科書の変わらない良さはどのようなものがありますか。

A2

「歴史的な見方・考え方」を働かせ、多面的・多角的に考察できる構成

- 第1編第1節で、「歴史的な見方・考え方」を働かせて考察する中学校の歴史学習を体感
- 第2～6編では、1授業時間を一つの探究活動として、「歴史的な見方・考え方」を繰り返し働かせた学習を実現

田口 変わらない良さは「歴史的な見方・考え方」を大切にしているところです。さらに今回の教科書では、第1編第1節で生徒自身が「歴史的な見方・考え方」を働かせることに親しめるよう、カードゲームの要素を取り入れた活動にリニューアルしています。小学校の歴史学習で学んだ人物や文化財のなかから、生徒が担当するカードを決め、「時系列」「推移」「比較」「つながり」という四つの「歴史的な見方・考え方」で関係づけられるカードを自由に見つけたり、作ったりします(→P.16 図3)。

中学校の歴史学習は小学校で学んだ歴史を詳細にして繰り返したものと思われがちですが、生徒



図2 ③戦時下の国民の生活 (P.248)

下位の問い(Sub Question)

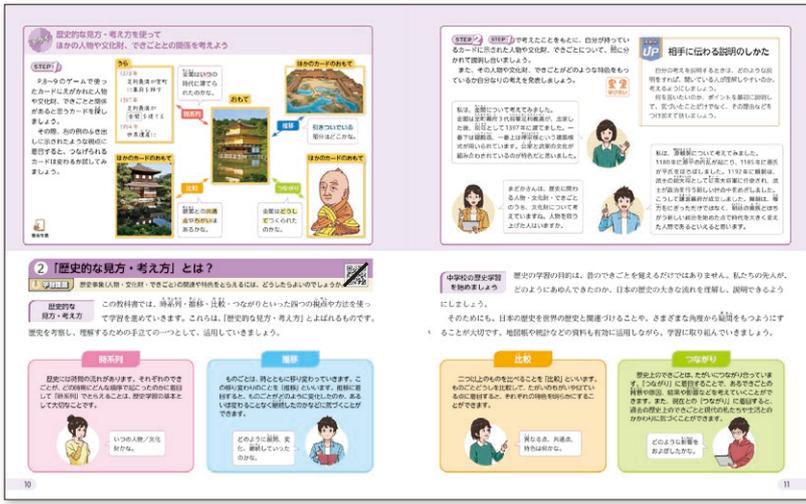


図3 「歴史的な見方・考え方」とは? (P.10-11)

自らが「歴史的な見方・考え方」を駆使して多角的・多角的に考えていくものであることを、まず第1編第1節で体感してほしいと思っています。

角田 本文ページは、1授業時間を原則見開き2ページで構成しています。この見開きで「何を学ぶのか」を明確にするために、「学習課題」を提示し、それと対応した「確認」「表現」を設定することで、1授業時間を一つの探究活動として捉えた構成を意識している点は、令和7年度版の教科書においても引き継がれています。このような構成を採用することで、生徒たちに基礎的・基本的な知識・技能を確実に定着させることができるとともに、先生方が授業計画を立てやすくなっています。また、学習課題を解決する際に働かせる「歴史的な見方・考え方」を「見方・考え方」コーナーに例示する構成も維持しており、「学習課

題」、「確認」「表現」と連動することで、1授業時間ごとの内容に即したかたちで、探究活動としての授業モデルを提示するものになっています(図4)。

ただ、先生方には、これらのコーナーをそのまま機械的に使うだけではなく、生徒たちの実態や学習の状況に応じて、問いや表現に必要なアレンジを加えるなどして、よりよい授業づくりのために役立ててほしいと思います。

Q3

歴史の教科書 QR コンテンツにはどのようなものがありますか。

A3

知識伝達にとどまらない資質・能力の育成を促し、生徒が主体的に活用できるコンテンツが満載

- イントロダクションムービー、ポートフォリオ、確認小テスト、思考ツール解説、スキルUP解説動画など

角田 第2～6編における各節の最初のページに「イントロダクションムービー」を準備しました。これは、節ごとに設定した問いの解決に見通しをもたせるために、問いを解決していくうえで大切な視点を盛り込んだ投げかけをすることで、学習意欲を喚起するものとなっています。また、学習の成果として、「何ができるようになるか」が重視されるなかで、生徒たち自身が自己の学びを振り返ったり、先生方が生徒一人ひとりの学習



図4 本文ページ (P.196-197)

生徒自ら考えたく なるような 問いや 活動で歴史 の学びに誘う



状況を見取り、授業改善や評定の作成に生かしたりするためのツールとして、節などの内容のまとまりに応じた「ポートフォリオ」が準備されています。これらの効果的な活用は、知識伝達に留まらない、資質・能力の育成をめざす歴史学習の実現のために大いに役立つでしょう。

田口 「イントロダクションムービー」や「ポートフォリオ」以外にも、教科書にある二次元コードを読み取って一人一台端末に表示する教科書QRコンテンツは本当に充実しています。NHK for Schoolのような外部リンクだけでなく、教科書に準拠した「確認小テスト」、先ほど紹介した思考ツールの使い方を詳しく解説したコンテンツなども準備しました。例えばロジックツリーでは、書き始める箇所や各階層のレベルなどが解説されており、生徒が思考ツールを使って情報や思考が整理できるようにサポートしています(図5)。

ロジックツリーを使ってみよう 具体化する

明らかにしたい課題の理由を掘り下げたり、解決策を導き出したりするために情報をツリー状に分解していくと、思考を整理することができます。まず、①明らかにする課題を一番左の枠に記入します。次に、②課題について、What(何か)、Why(なぜか)、How(どのようにして)などと問いながら、**具体化したこと**を右隣の枠に記入します。そして、これをくり返し行い、③より具体化していくことで課題について**考える材料**になります。具体化する際には、抜けや重複がないようにし、まともにあたるものや事実にあたるものなど、ツリー状に分解しながら各階層のレベルをそろえることを意識しましょう。

図5 思考ツール解説(教科書QRコンテンツ)

また教科書にある「スキルUP」コーナーのうち、「系図の読み取り方」や「絵巻物の読み取り方」といった歴史学習に特有な情報を読み取る技能については、動画で解説するコンテンツもあります。読み取りを苦手を感じる生徒が授業外でも主体的に活用できるものになっているので、何度でも見てほしいですね。

Q4

歴史を楽しく学ぶために、どんな工夫をしていますか。

A4

生徒自ら歴史に触れ、歴史学習の魅力に気づくことができる工夫

- 大きく豊富な図版を多数掲載し、「資料活用」コーナーや「学び合い」マークを活用した魅力的な活動を提案
- 「スキルUP」コーナーで生徒の主体的な調査活動を技能の面でサポート

田口 歴史の授業というと先生の解説(トーク)と板書(チョーク)が中心で、生徒にとって受け身の、単調な授業を思い浮かべる場合が多いと思いますが、生徒の集中時間は短くなっているという報告もありますし、一方で、生徒が自分で何かやってみたいという意欲も強くなっていると感じています。

生徒が自然に楽しく学ぶ第一歩として、生徒の目を教科書に引きつけることが必要だと思います。日本の歴史教科書には大型の綺麗な図版を豊富に掲載しましたので、楽しく学ぶ足がかりにはぴったりです。

次に、生徒自らが考えたくなるような問いや活動で歴史の学びへ誘っていくことが重要ですが、「資料活用」コーナーを利用すれば難しくありません。例えば「聖徳太子と蘇我氏が、それぞれの天皇とどのような関係だったのか、系図から読み取りましょう」という活動(図6)との出会いで、生徒は系図をじっくり見てみたり、すぐには気づけなかった資料の深い意味に気づく面白さにハッとしたりするかもしれません。

スキルUP 動画

系図の読み取り方

系図は、祖先と子孫などの関係を線で記したものです。右の系図の場合、上下線は親子関係、左右線は兄弟姉妹関係、二重線は婚姻関係をあらわします。この系図は、蘇我氏と天皇家との関係を記しています。

資料活用 聖徳太子と蘇我氏は、それぞれの天皇とどのような関係だったのか、系図から読み取りましょう。

図6 スキルUP (P.43)

また、生徒の多様な回答が可能な問いや活動には「学び合い」のマークもつけました。歴史が苦手な生徒でも率直に感じたことから発言でき、クラスメイトと共に考えを練り上げていく、楽しい対話的な活動が実現できるような支援をめざしています。



角田 歴史学習ではたくさんの知識を暗記しなければならないというイメージが強いかもしれませんが、生徒たちには、自分自身が学びの主体であるという意識を持ってほしいと思います。先ほど田口先生が紹介した「スキルUP」コーナーでは、情報を「読み取る技能」以外に、情報を「収集する技能」や「まとめる技能」を系統的に解説しています。「収集する技能」では、生徒たちが主体となって調査活動を進める際に有益な技能を、「まとめる技能」では、調査や考察の成果を適切な方法で表現するために有益な技能を解説しており、歴史学習に必要な基礎的・基本的な技能を身に付けることができます。これらを積極的に活用していくことで、生徒たちが歴史学習に魅力を感じ、自ら歴史を探究する力を身に付けていくことを期待しています。



図7 テーマを決めて調査の準備をしよう (P.12-13)

角田 特設ページ「チャレンジ歴史」を引き続き設定しています。ここでは、本文ページの内容をより掘り下げた課題について、史資料を基に深く思考したり、対話したりして、歴史を学ぶことの奥深さや面白さを実感できるようにしています。探究としての歴史学習においては、学習者である生徒たち自身が、知識を習得するだけではなく、様々な思考しながら歴史と対話していくことが求められますが、この教材はそうした歴史との対話を保証するものです。また、古代から近代までの各時代で設定されており、史資料を読み取り思考する学習から、歴史上の課題に対して選択・判断させる学習まで、生徒たちの発達の段階に応じた課題が順次提示されるように配慮しました。学習の進行に伴って、歴史との対話のあり方を発展させていくことができるようになっています。

Q5 歴史について生徒が自ら調べ、考える工夫は何かありますか。

A5 生徒だけでも探究に取り組める丁寧な解説や、発達の段階を考慮した教材を豊富に掲載

- 身近な地域の歴史の調べ方やまとめ方は、具体例を示しながら丁寧に解説
- 資料をもとに考え、歴史の奥深さや面白さを実感できる教材の充実

田口 第1編第2節「身近な地域の歴史の探究—大阪市内を例に一」を新設しました(図7)。「調査の全体像」を「テーマの決定」「課題の調査」「考察とまとめ」の3ステップで整理し、生徒の思考の流れや作成物の例を具体的に示しています。情報があふれる現代の探究学習であることを意識し、「地域調べをする理由を明確にするための視点」や情報を整理するためのカード、引用のしかたなど、生徒だけでも歴史的な探究に取り組めるよう丁寧に解説しました。

また第2～6編の特設ページにある「出かけよう!地域調べ」でも、上の調査の3ステップに基づいて全国各地の遺跡や博物館を探究する事例を示して学習を連動させています。イラストマップや歴史新聞など、生徒のまとめ方の例はそれぞれ異なる形式で提案しているので、ぜひ参考にしてほしいです。

Q6 持続可能な社会についてはどのように扱われているのでしょうか。

A6 歴史の学習全体を通して、これからの社会を考えることができる仕掛けや教材を掲載

- 現代史の学習や、『「歴史との対話」を未来に活かす』の課題例など、SDGsに深くかかわる教材で構想学習を実現
- 各時代のコラムや特設ページでも現代的な諸課題を考えるうえでヒントとなるような事例を多数紹介

角田 SDGsの17の目標を解説したページや、SDGsと関連したコラムや特設ページを設定しています。また、第6編の最後の本文ページやこの編の

第3節のイントロダクションムービーでもSDGsを視点にして現代社会の諸課題について考えてみることを述べています。こうした様々な工夫によって、歴史学習全体を通じて、SDGsの意味や意義が実感できるようになっています。さらに、巻末の「『歴史との対話』を未来に活かす」(図8)において、歴史学習で学んだことを活かして、よりよい未来について構想する課題例を提示しました。合わせて、そこで働かせるべき「歴史的な見方・考え方」も示しているので、歴史学習の成果を総動員して取り組んでほしい教材です。また、公民的分野の学習へのつなぎにもなっています。

田口 中学校学習指導要領の前文で「持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる」と述べられている通り、社会情勢だけでなく教育においてもSDGsは最重要事項となっていて、歴史学習も例外ではありません。教科書の巻頭言「歴史を学ぶにあたって」では「よりよい未来のため、私たちがこれから何をすべきかを考える」ことを、巻末言「歴史を学んで」では「世界中の人々が豊かで安心できる暮らしを続けていけるように、みんなが自由で平等であり続けられるように、すぐれた知恵を集め、話し合っていきましょう」と生徒に呼びかけています。歴史的分野を学び始める前と最後に読んでもらうことで、歴史を学ぶ意義や歴史を通してSDGsを学ぶことができることに気がついてくれると思います。

また、SDGsについてより具体的に考えていくために、特設ページ「歴史を掘り下げる」で「今に伝わる琉球とアイヌ民族の文化の形成」を新設し、各時代の女性を7テーマで取り上げるコラムも設けています。生徒が多様性や人間の行動などについて立ち止まって考える機会になるはずです。



「学びのプロセス」 としてデザイン された教科書で見通し をもった授業づくりを

Q7

最後に、この教科書を使う先生方へのメッセージをお願いします。

角田 令和7年度版の日文教科書の大きな特長は、先にも述べましたが、教科書全体を「学びのプロセス」としてデザインしている点にあります。編や章・節・1授業時間ごとに設定された、構造化された問いに基づいて、各時代の特色を探究することを主眼に構成しましたので、生徒たちが様々な思考しながら歴史を学ぶことができるようになっています。こうした構成は、先生方にとっても、単元を見通した授業づくりに資するものとなっていますので、この教科書が広く手にされて、よりよい授業づくりのために活用されることを期待しています。

田口 この教科書は時系列で各時代の特色を探究していくことがメインの授業だけでなく、夏休みや冬休みの課題あるいは総合的な学習の時間といった生徒が自ら取り組む歴史的な学習でも大活躍します。生徒の興味・関心の対象は様々で、それらにも歴史があるはず

です。日文の歴史教科書がずっと力を入れてきた「歴史的な見方・考え方」や、新設された「身近な地域の歴史の探究」などが、それぞれの生徒のオリジナルの歴史的探究を進めていくパートナーとなることを願っています。



図8 「歴史との対話」を未来に活かす (P.294-295)



橋本康弘先生 川口広美先生
に聞きました



新しくなった 公民教科書は 授業にどう生かせる？

福井大学教授
はしもと やすひろ
橋本 康弘



専門分野／社会科教育学、公民教育、法教育
主要著書／『つまづきから授業を変える！高校公民「PDC A」授業＆評価プラン』（明治図書、編著、2022年）、『ハーバード法理学アプローチ』（東信堂、共訳、2019年）、『高校社会「公共」の授業を創る』（明治図書、編著、2018年）、他多数
日本文教出版『中学社会』教科書著者

広島大学准教授
かわぐち ひろみ
川口 広美



専門分野／シティズンシップ教育、社会科教育。
主要著書／『イギリス中等学校のシティズンシップ教育—実践カリキュラム研究の立場から』（風間書房、2017年）、『学びの意味を追究した中学校公民の単元デザイン』（明治図書、編著、2021年）、*Social Studies Education in East Asian Context* (Routledge、共著、2021年)
日本文教出版『中学社会』教科書著者

Q1 日文の公民教科書にはどのような特徴があるのでしょうか。

A1 見方・考え方を働かせて思考力・判断力・表現力等を育む教材が豊富
■見方・考え方コーナーやアクティビティ、チャレンジ公民など

橋本 学習課題の下に設けている見方・考え方コーナー(図1)は特徴的だと思います。見方・考え方は学習指導要領上でも重視されてきているんですが、日文

見方・考え方 対立と合意 民主主義

政治の決定の方法と、決定に際して守るべきルールを、民主主義に着目して理解しましょう。

図1 見方・考え方コーナー (P.40)

の教科書はそれぞれの見開きで「この見方・考え方から考えてみましょう」と可視化させています。見方・考え方は抽象度が高い概念なので、このように学習課題を解く鍵として位置付けることで、どうやって見方・考え方を活用した学習をしていくのかのイメージがつきやすい紙面になっているかと思います。その意味でもこの教科書の作り方には意義がありますね。

川口 見方・考え方コーナーは、生徒にとってもその通りだし、先生にとってもそうだと思います。私が担当している教員養成課程の学生は、自分自身はほとんど見方・考え方を意識せず授業を受けてきたためか、実際に授業を作ることになったときに、見方・考え方とはどういうものなのか、何をすればいいのかがイメージしにくいということをよく言っています。このような形で学習課題やアクティビティ(図2)と連動して示されることで活用のイメージがつきやすい紙面になっていると思います。

橋本 アクティビティについては、見開き1ページ分を使った1授業時間のなかで使用して主体的・対話的で深い学びが実現できるという位置づけのコーナーで、これも日文の特徴ですね。川口先生のおっしゃるよう見方・考え方の具体的な活用のしかたを示しているのは意味があると思います。

ほかにも、各章に設けているチャレンジ公民(図3)も見方・考え方を活用して思考力・判断力・表現力等の育成を目標に置いているページです。このような学習ではなかなか自分の意見が出せない生徒さんもいるかと思いますが、自分の意見以外にどんな多様な意見があるのかということを知ることができるような紙面にもなっているので、論争問題学習に取り組みやすい構成になっていると思います。

川口 チャレンジ公民は現実の社会で見方・考え方をどう働かせることができるかをイメージできる内容なので、主権者教育の面も持っています。ツールミン図式のような思考ツールの使い方も示されているので、そういったものを活用しながら具体的に大きな現実社会の問題をどう考えていき、様々な意見をどういうふうにまとめていけばいいのかといった学習に取り組むことができるように工夫されています。

アクティビティ 公正な選挙について考えよう

政党名	A党	B党	C党
得票数	600票	450票	240票
+1	① 600票	② 450票	240票
+2	③ 300票	225	120
+3	200	150	80
議席数	2人	1人	—

(1)各政党の得票数を1、2、3...の整数で割る。
(2) (1)で得られた商が大きい順に、定数(ここでは3人)まで各政党に議席を配分する。

3 比例代表制の議席配分の計算方法(ポイント)

①②で、各選挙制度の死票(落選者に投票された票)は何票ですか。
②③で、もし当選者が4人なら、次はどの政党に当選者が出るでしょうか。
③日本の選挙制度がさまざまなしくみを組み合わせて行われている理由を、公正の観点から説明しましょう。

図2 アクティビティ (P.87)

公民的分野は 現実の社会と 結び付けて 学習を 進めて欲しい



公民的分野は現実の社会と結び付けて学習を進めて欲しいということはこれまでずっと言われてきたことだと思うのですが、それが実現しやすくなっていると思います。

チャレンジ公民 **自分たちのまちの首長を選ぼう**

あなたの住むまちで、首長を選ぶ選挙が行われることになりました。まちの課題について調べ、よりよいまちづくりが期待される首長を選び、模擬選挙をしてみましょう。

1 まちの課題を出し合おう

あなたの住むまちには、どのような課題があり、その課題に対して地方公共団体はどのような取り組みを行っているでしょうか。調べてみましょう。

私たちが中学生だけでなく、さまざまな立場の人にとってそれぞれ課題があるね。

これまでどの公民の授業ではどのようなことを学習したかな。

憲法や政治の学習と関連することはあるかな。

資料収集のヒント

- 地理や歴史で学習した内容からも考えてみましょう。
- (例) 位置、地形、気候、人口、産業、商業、市町村合併、まちの歴史、観光など
- オンライン上で、地方公共団体のウェブサイトを見てみましょう。
- 今の首長はどのような人で、どのような課題に取り組んでいるだろうか。
- 議会ではどのようなことが議論されているだろうか。
- 歳入・歳出はどれくらいあるのだろうか。
- 住民意識調査の結果はどのようなものだろうか。
- 広報誌にはどのようなことが書かれているだろうか。

◆地方自治についての関連ページ

- P.114 まちの特色ある取り組みは?
- P.117 首長や議会などの取り組み
- P.118 財政状況は?
- P.121 住民参加のしくみ、NPOのはたらき など

●調べた課題のなかから、特に重要視したいもの一つを選びましょう。順位づけには、ダイヤモンドランキングを使うことができます。

私はまちの人口が減少していることが気になるな。

保育園に入れにくい特待児童の課題があると聞いたことがあるよ。

環境についての取り組みはどうなっているのかな。

自分と異なる意見に触れると、新しい気づきがあるね。

2 政策について検討してみよう

① あなたのまちの首長に、次の3人が立候補しました。候補者の政策案について検討してみましょう。

A 候補者: いきいき働けるまちづくり

私はいきいきをもって働けるまちをめざします。そのために、まずテーマパークを誘致することで従業員と近隣住民の雇用創出を行い、経済活性化します。雇用が増えるのでまちの人口の増加も期待できます。

B 候補者: みんなが安心・福祉のまちづくり

私は高齢者も子育て世代も安心をめざします。そのために、介護施設と保育園の数を増やします。また、それらを併設した施設を建設することによって世代間交流もつながります。

C 候補者: 災害に強く豊かにやさしいまちづくり

私は災害に強く豊かにやさしいまちをめざします。そのために、河川防犯堤防を強化します。また、リサイクル活動の推進、自然エネルギーを利用した発電設備の建設を並行して進めます。

●これまでに調べた地域の課題と候補者の政策案を比較して、政策に付け加えて欲しいことがあれば発表しましょう。また、もし全く新しい政策案があれば、新たに空席の候補者を立ててみるのも構いません。

●政策の分析の例

A候補の政策	
良い点	悪い点
地元の人や企業を活用している。テーマパークを建設する土地は経済や人口についてよい効果がどこにあるのか。経済が盛り立つ気配がある。テーマパークにまつばの観光客がもたらせるのは、ある若い世代から集める。テーマパークに興味のない世代からは票が入らなさそう。	

SNSを使って、住民の声を聞いている地方公共団体もあるね。

3 模擬選挙をしてみよう

① クラスで模擬選挙をしてみましょう。支持する候補者を選び、投票しましょう。

公正な選挙のための原則には何があったかな。

模擬選挙の結果が出たら、よりよいまちづくりのためにどのようなことが大切か、あなたの考えをまとめてみましょう。

チェックポイント

このページの学習で、次の点が達成できたでしょうか。

- まちの課題について情報を集め、どのような課題を重要視しているかが、自分考えをまとめることができた。
- 首長の候補者の政策が自分のまちの課題にあったものかどうかを検討し、付け加えて欲しい政策や新たな候補者の政策ができた。
- よりよいまちづくりのためにどのようなことが大切か、考えを自分の言葉でもらうことができた。

図3 チャレンジ公民 (P.124-125)

橋本 チャレンジ公民は架空の事例を使っているというのも特徴なんですよ。現実世界の出来事にしてしまうと、紙面に載せきれない利害関係も出てきて、あまりにも状況が複雑になってしまう。複数の政党が示した政策を吟味するような学習が出てくるんですが、ここも政党は架空のものにしています。

あとは紙面上に掲載されているさまざまな資料を読解する作業も含まれているので、情報を読み取る技能の育成にも対応していると言えます。

Q2

新しい日文の公民教科書では、どのような試みをしていますか。

A2

単元を貫く問いを構造的に配置

- 内容のまとまりごとに単元を貫く問いを構造的に設定し、教科書に掲載している

川口 今回の教科書から、単元を貫く問いを教科書紙面上に設定するようになりました。先生方は小単元の問いとより大きな大単元の問いをどうやって結び付ければ良いかがなかなかイメージしにくい部分があるのかと思いますが、P.39「学習のはじめに」(図4)に示しているように各節の問いを考えながら大きな章の問いに答えていくことがつかみやすい紙面になっています。漫画から問いを立てるというのも分かりやすいのではないかと思います。

? 第2編第1章の問い **私たちの生活を支える政治は、なぜ日本国憲法に基づいて行われているのでしょうか。**

? 第1節の問い なぜ法に基づいて政治が行われることが大切なのでしょう。

? 第2節の問い 人権の尊重とはどのような考え方なのでしょう。

? 第3節の問い 日本の平和主義は、どのように生かされていくべきでしょうか。

図4 第2編第1章の問い (P.39)

生徒にとっても先生にとっても分かりやすい構成



橋本 生徒にとっても見通しを章単位で持たせることを考えた時に、冒頭でこのような形で章の問いと節の問いを明確に示しておくということは大事なことだと

思います。問いが各章ごと同じ構造になっていることは生徒にとっても先生にとっても分かりやすい構成になっているのではないかと思います。

主体的に学習に取り組む態度の評価は内容のまとまりごとに行うことになりませんが、この構成は、その考え方に合致しています。学習の振り返りの中で主体的に学習に取り組む態度を評価するというのが明示されていると、評価についても先生が見通しを立てやすくなります。

Q3

公民教科書のQRコンテンツにはどのようなものがありますか。

A3

個別最適な学びへの対応や学びに向かう力、人間性の育成に資する教材を豊富に掲載している

- ポートフォリオで学習履歴を記録
- イントロダクションムービーや確認小テストで自分のペースで自学自習できる

川口 ポートフォリオについてですが、定期的に振り返りをして「自分自身がどういうふうに考え方や視点が深まっていったのかな」だとか、「ここでは何を学んでいたのかな」といったことを総合的に見ていく素材として利用できます。1時間ごとではなくポートフォリオの形式で学習履歴をまとめておくことは、「これから先自分でどうやって学んでいけばいいのかな」という学びに向かう力、人間性を育成する上でも大事なことだと思います。

橋本 QRコンテンツは個別最適な学びと言われている中での対応だと私は理解しているので、その意味でも、イントロダクションムービーや確認小テストなどを用いて家庭学習で自分のペースで自学自習ができるというのは有益だと思います。また需要と供給や円高・円安といった生徒のつまずきやすい箇所の理解を助ける、ビジュアル化した教材を提示しているのは良いですね。

Q4

公民を楽しく学ぶために、どんな工夫をしていますか。

A4

生徒の興味を引き起こす工夫がされている

- 理解しやすいイラスト教材の使用
- 学習内容と生徒の生活の関わり方に気づかせる教材
- 高等学校への接続も意識されている

アクティビティ ビッグデータと防犯カメラ **2** 学び合い

ビッグデータとは、人々の多様な行動情報を大量に収集したものです。政府や企業は、それらを分析して、社会政策や企業活動に活用します。例えば、防犯カメラの映像から人や車の流れを時間帯ごとに把握してまちづくりに使ったり、さらに個人を識別する技術で犯罪捜査に協力したりできます。一方、こうした情報を個人情報の一部と考えると、プライバシーの権利や肖像権の侵害、監視社会の問題も指摘されています。

①どのような場面で人々の行動情報が収集されるかを考えましょう。なぜその情報の活用がプライバシーの権利の侵害につながるのでしょうか。

②防犯カメラをどのように設置するべきかについて、グループで話し合しましょう。

4 まちの防犯カメラ (東京都新宿区)

事件発生 (ハロウィーンの騒ぎで軽トラック横断)

周囲の防犯カメラや歩行人の撮った動画から犯人特定

駅の防犯カメラやカード履歴、自宅周辺の聞き込み

マンションの防犯カメラで自宅を特定し、犯人を逮捕

3 防犯カメラによる事件の解決の例

図5 アクティビティ (P.63)

生徒が自分事として学習に取り組むことができる



川口 例えばP.63のアクティビティ(図5)は、普段何気なく町中にある防犯カメラと授業で学習したプライバシーの権利にどのような関係があるのかを知ることができる教材になっていますが、この事例のように、教科書では生徒に自分たちの生活と公民の学習がど

のような関わりをもっているのかを気づかせる事例が扱われています。

学ぶ上で必ずしも楽しい必要はないかと思うんですが、公民はどうしても生徒の将来に目が向きやすいので、この教材のように今の自分たちとどうリンクしているのかが伝わると、生徒が自分事として学習に取り組むことができると思います。

橋本 分かりやすくするという意味では、導入ページ(図6)で漫画を教材にしているようにイラスト教材での親しみやすさ、理解しやすさは良い工夫ですね。

また、巻末に高校に進学したら公共の授業でこういうことを学びますよということを解説するページがありますが、これも特徴的です。中学の公民と高校の公民は、中学校で基礎を学んで、高校で現代社会のさまざまな課題について論争問題学習に取り組むというイメージをつけてもらう点で意味があるのではないかと思います。

川口 中学校の先生が高校の教科書をじっくり読む機会もそれほどないでしょうから、生徒も先生も公民の学習がどうやって繋がっていくのかわかると嬉しいですね。

橋本 ここでは中学と高校で見方・考え方が繋が

第4編 私たちと国際社会

第1章 現代の国際社会と課題

学習のはじめに チョコレート王国

小学校で学習した内容: 持続可能な社会 異文化理解 国際協力 国際連合 国連 国家 地球環境問題

どんな学習をするのかな? 世界にはおよそ200の国があり、それぞれの国の政府が治めています。こうした多くの国からなる国際社会では、漫画のように人権を侵害する国や、他国を侵略する国が現れるも、国内の社会とはちがって法を執行する中央の政府はありません。つまり、国際間で協力して問題を解決する必要があります。日本は憲法で戦争放棄を定めており、平和的な方法で問題の解決に貢献していく必要があります。日本は、国際社会のなかでどのような役割を果たしていくべきかを考えましょう。

気になったことを出し合おう

Q1. A国の子どもは、どのような権利が侵害されているかを考えましょう。

Q2. 他国から受けた注意を、A国は受け入れなくてもよいでしょうか。そう考えた理由は何でしょうか。

B, C, D国が、A国の子どもの人権を守るためにA国へ軍艦を送りこむことには、問題がありそうな気がしますよ。

国と国の対立はどう解決したらいいのだろうか。

SDGsは、この問題とどのように関係しているのかな。

第4編第1章の問いを立てよう

チョコレート王国の事は、この章の学習とどのように関係するでしょうか。出した意見から出た疑問を解決するための課題をまとめましょう。

第4編第1章の問い 平和で持続可能な国際社会の実現のために、日本はどのような役割を果たすべきでしょうか。

第1節の問い: 国際社会において国家がたがいにも尊重し協力し合うために大切なものは何でしょうか。

第2節の問い: 国際社会の課題の解決のために、私たちどのような取り組みができるでしょうか。

学習の見通しをもとう

第4編第1章の問いに対する疑問や答えの予想を、ポスターやノートに書きましょう。

まとめ(P.221)では、第4編第1章の問いに答えるための活動を行います。この問いを意識しながら、学習を深めていきましょう。

図6 導入ページ (P.188-189)

ているという点を書いているんですね。本当はもっと社会科の見方・考え方は小学校から高等学校まで共通しているようなことをイメージできるようになると良いのかなということは今思いました。

Q5 主権者教育に関しては、どのような教材が用意されているのでしょうか。

A5 社会的な課題について考察、構想することで、投票者としての基本を学習することができる

■チャレンジ公民で社会的な課題を扱った学習を行う

橋本 主権者教育の基本は社会的な課題を扱うことなので、Q1でも言及しているチャレンジ公民ページ(図3)の学習内容は主権者教育の教材として適しています。例えばP.124-125では各候補者がどのような政策を出しているのかを個人個人で読み取ったうえで、社会においてどのような政策実現が必要かということ自分で考えて、判断して投票するという投票者としての基本的な態度を学んでいくという構成になっています。高校の公共ではこのような学習を行っていくため、そこにつながる中学校の学習として、このような活動をまずやってみるといふことに意味があると思います。

右下部分にあるチェックポイントにも大切なことを書いています。「まちの課題について情報を集め…」とあり、まちの課題について考える活動を行うにあたって、情報をしっかりと集めることが大事なんだということは押さえておきたいです。

川口 主権者教育というと単に「何か社会の問題について考えればいいでしょ」ということが先行

しがちで、どうしても何を学ぶのかが見えにくいところがあるんですが、チャレンジ公民はこれまで学習して身につけた知識や見方・考え方を生かして考えるとか、思考ツールを活用しながら進めていくとか、どうやったら論理的に説明ができるのかといった点をきちんと足場をかけながら行えるのは特徴だと思います。

橋本 主権者教育ではないですが、18歳成年に関して消費者教育のページ(図7)が新しく出来ましたね。

Q6 持続可能な社会についてはどのように扱われているのでしょうか。

A6 教科書全体を通して考えられるようにしている

- 第1編の現代社会の特色として学習
- 政治や経済などの学習を踏まえたうえで第4編第2章で課題探究学習を行う

橋本 第1編で学習する現代社会の特色について、学習指導要領で挙げられているのは少子高齢化、情報化、グローバル化の3つですが、日文の場合はそこに一つ持続可能性を付け足しているんですね(P.14-15)。持続可能な社会をつくるための基本的な内容の理解をこのページでしておき、政治や経済の学習を踏まえたうえで、最後に第4編第2章(P.222~)で探究するという構造になっています(図8)。探究のテーマもいくつか設定されていて、SDGsと関連したようなテーマを設定してレポートをまとめていくことになるので、持続可能な社会の形成ということを重視した構成になっていることは評価できるのではないかと思います。



図7 契約について考えよう (P.138)

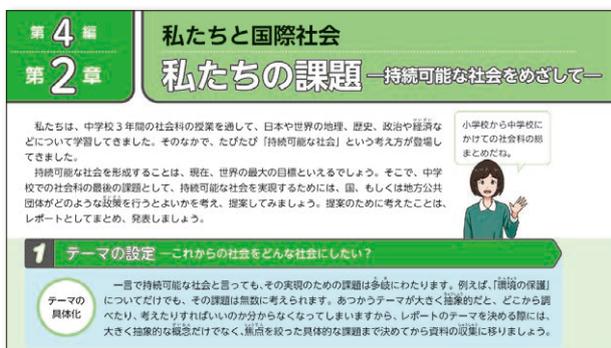


図8 第4編第2章私たちの課題 (P.222)

川口 SDGsについて表見返しや現代社会の特色のところ載っているということで、持続可能な社会とはどういうものなのか、どういった社会を作っていくのかという見通しを持ちながら学べるとい

うところは良いと思います。あと、P.216-217にSDGsから未来の社会を考えようというページがあり(図9)、単にSDGsをお題目のように学ぶだけではなくて、日本の社会をSDGsの視点から批判的に見て、達成度の低い目標についてどういった解決策があり得るのかを生徒が考えることも想定されています。

橋本 SDGsについては、日文は地理と歴史もそれぞれ学習できるページを設けていますし、令和6年度版の小学校社会科教科書でもSDGsに力を入れていましたね。学習指導要領上も、教科書第4編第2章にあたる公民の課題探究学習は小学校社会科から中学校地理、歴史、公民の総まとめという位置づけになっています。

Q7 最後に、この教科書を使う先生方へのメッセージをお願いします。

橋本 今までの話を総括すると、見方・考え方やアクティビティ、チャレンジ公民などそれぞれの学習活動に意味を持たせて教科書を作っているので、その意味をくみ取りながら、目の前の生徒の実態を踏まえつつ、教科書を生かした授業づくりをして欲しいです。

公民の学習は中学3年生の高校受験の前の追い

込みの時期になってくると、「本文ページの太字のところを中心に」という授業が今でも行われがちなんですが、時間が限られているなかでも積極的にアクティビティなどの主体的・対話的で深い学びに繋がるような学習活動に取り組んで欲しいと思います。

川口 第一に、日文の教科書は今後の社会で学習したことをどう生かしていくのかということがかなり意識されたつくりになっています。アクティビティもそうですし、節の問いを積み重ねてより大きな問いに答えていくという紙面構成からもそれが見えるかと思います。義務教育の最終段階として、主権者教育が中心となってくる公共の授業への引き継ぎとして非常に重要な学習ということで、改めて見直すきっかけになっていただければと思います。

第二に、教科書は現実の社会との接続を意識して作られていますが、それでもやはり公民の学習は抽象度が高く、生徒にとってはイメージしにくい内容も多々あります。決して何から何まで教科書の通りに授業を進めないといけないわけではないので、目の前の子供たちに合わせてどういった教材が適切なかを判断しながら、教科書を活用してより良い授業を作っていただければと思います。

図9 SDGsから未来の社会を考えよう (P.216-217)

デジタル教科書・デジタル教材のご案内

1人1台端末で利用する「学習者用デジタル教科書」、学習者用デジタル教科書と一体的に利用することでより学習を深めることができる「学習者用デジタル教材」、電子黒板などで提示する

「指導者用デジタル教科書（教材）」を発行します。個別最適な学びの実現を目指し、授業や個別学習のサポートとなる機能・コンテンツを用意しています。多様な授業形態や機器の整備状況に応じてご利用ください。WindowsPC・iPad・Chromebookの3種に対応しています。

学習者用デジタル教科書

いつでも拡大、いつでも書き込み

利用頻度の高い「拡大」「ペンツール」「ページ送り」の基本機能をいつでも使いやすいように配置しています。何度でも書いたり消したりを繰り返すことができ、間違いを恐れず考えを深めることができます。



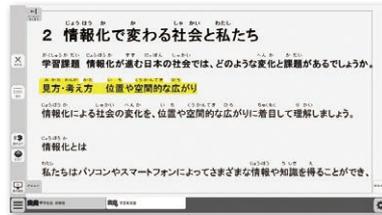
充実した学習支援機能

文字色や背景色の変更、行間・文字の大きさ変更（リフロー機能）、総ルビ表示、本文の機械音声読み上げ、背景色・文字色等の変更など、学習を進めやすくするための機能を実装しています。一人ひとりの特性に合った学習をサポートします。

リフロー機能・総ルビ表示



機械音声読み上げ



背景色・文字色等の変更



指導者用デジタル教科書（教材）

豊富なコンテンツで生徒の理解を支援

コンテンツ例① 地図の重ね合わせ（地理）

紙の教科書に載っている複数の地図を重ね合わせて凡例別に表示を切り替えることができます。



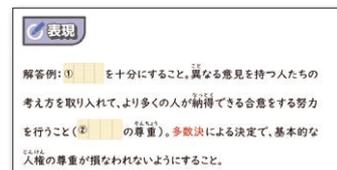
コンテンツ例② モノクロ写真をカラー化して表示（歴史）

モノクロ写真をAIの技術や戦争体験者との対話などによってカラー化して表示することで、生徒の学習意欲を高めます。



コンテンツ例③ 解答例表示（公民）

指導者用デジタル教材には、教科書中の問いの解答例を掲載しています。



本製品は開発中のため、記載の内容・画像は予告なく変更する場合があります。

教師用指導書のご案内

教師用指導書は、「学習指導編」と「ワークシート・評価問題編」の2分冊と、「デジタルデータ集」「指導者用デジタル教科書（教材）」から構成されます。

学習指導編

総論編	<ul style="list-style-type: none">● 学習指導要領や学習指導計画作成資料などの基本的な資料。● 学習指導要領の趣旨や授業での教科書の活用の仕方などの論考。
学習指導編	<ul style="list-style-type: none">● 内容のまとめりごとの指導や評価計画の作成を支援する単元の問いの構造などの解説。● 1時間の授業をひと目で見渡せる見開き2ページ構成。● 現場の先生方の授業実践の成果を反映した学習指導案や板書例など。● 教科書の図版の解説や授業における活用の仕方のほか、「確認」「表現」などの問いの解答例（手立てを含む）。



ワークシート・評価問題編

ワークシート編	<ul style="list-style-type: none">● 教科書に準拠した1時間ごとのワークシート。● 学習指導編の展開例に対応した内容で、そのまま使用することが可能。● 解答例が記された赤刷りはデジタルデータ集に収録。
評価問題編	<ul style="list-style-type: none">● 単元ごとに作成した「評価問題例」と「評価問題の解説」を掲載し、定期テストなどでの問題作成の参考とすることが可能。 <p>評価問題例 知識・技能や、思考・判断・表現の評価の観点に対応した問題をバランスよく設定しています。特に思考・判断・表現を評価する問題については、複数の資料を読み取り、見方・考え方を働かせて解答する問題を作成するなどの工夫をしています。</p> <p>評価問題の解説 解答例や問題作成の意図のほか、誤答箇所別対応でその後の指導方法を提案するなど、個に応じた指導に対応しています。</p>

デジタルデータ集

教科書関連データ	<ul style="list-style-type: none">①教科書紙面データ 電子黒板など提示型ICT機器で利用できる教科書全ページの紙面PDF（総ルビ付きも収録）。②教科書本文テキスト 教科書の本文・コラムなどのテキストデータ。③教科書図版データ集 プリントやテスト作成の際に活用できるモノクロ化した教科書図版。
付録データ	<ul style="list-style-type: none">④学習指導計画案—評価規準の参考事例— 内容のまとめり（単元）に対応した、指導と評価計画の作成にあたって参考となる資料。⑤ワークシート 解答例なし・解答例付きの2種類。⑥白地図 日本全図・世界全図など。

「デジタルデータ集」はクラウド配信を予定していますので、WindowsPC・iPad・Chromebookなどの多様な機種で標準ブラウザを使用しての閲覧が可能です。

デジタル教科書・教材、教師用指導書について、より詳細な情報は日本文教出版webサイトをご確認ください。
<https://www.nichibun-g.co.jp/>



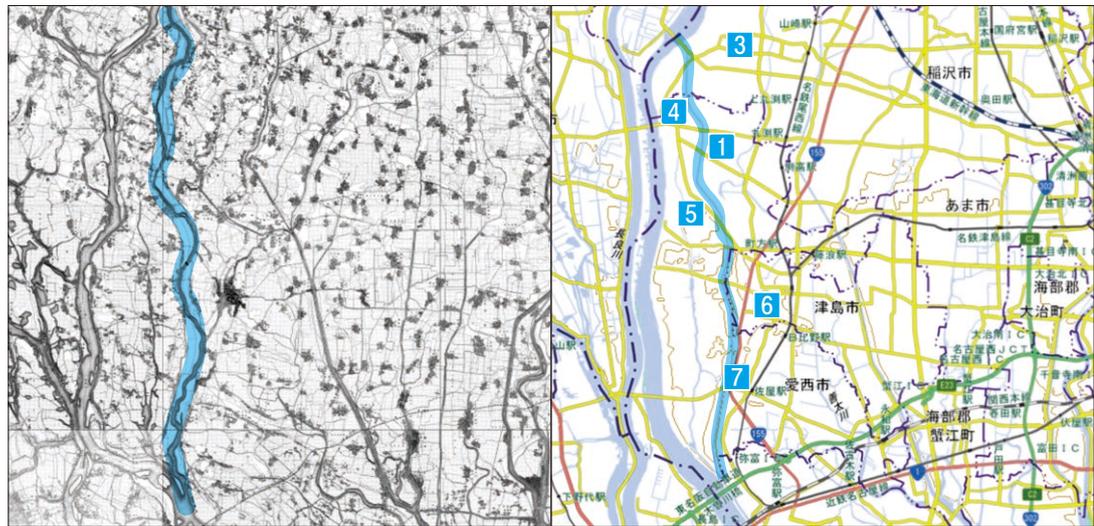
廃川「佐屋川」をめぐる

●愛知県愛西市立佐織西中学校校長 中山 政彦



1 海部幹線水路(愛西市江西町)

2 海部地方の新旧地形図と佐屋川・海部幹線水路の位置(「今昔マップ on the web」より)



八開中からの眺め

私がこの3月まで勤めていた愛知県愛西市立八開中学校は愛知県の西部、海部地方の中でも西端にある。学校の西側には海部地方を南北に貫く用水が流れている。正式名を「海部幹線水路」**1**というが、地元では「佐屋川用水」の名

で親しまれている。生徒も用水沿いの道を通学に使っているほど、日常の風景として溶け込んでいる用水である。

一方、八開中学校の東側には、周囲よりも小高い南北の道がある。海部地方のかつての地形図をみると、海部幹線水路沿いに川が流れていた**2**。この南北道路は江戸時代初期に尾張藩が築いた御囲堤の跡であり、八開中学校が位置する場所には、もともと「佐屋川」という大きな川が流れていたことが分かった。

良川は、かつて、現岐阜県羽島市桑原町で合流、一川となっていた。その逃し水川として17世紀中ごろ、合流地点の北東側に野田川(轟川)、南東側に間之川を通して流れを緩和した。これが佐屋川の始まりという話である。

出発点で西堤に移動し下流に進む。愛西市に入り、幹線水路が左手に近づいたところで藤ヶ瀬神社にたどり着いた。現愛西市藤ヶ瀬町である。ここは江戸中期、尾張藩の重職を担いながら俳人、文人として有名な横井也有の在所があったところである。横井家菩提寺である西音寺**4**も横井家の墓とともに残されていた。ちなみに俳文集『鶉衣』は昨年11月に也有の自筆本が発見され、再度脚光を浴びている。



- 場所 愛知県愛西市周辺
- 訪問時期 2023年12月
- 訪問目的 散策
- アクセス 名神高速道路岐阜羽島ICから南へ自動車で20分

佐屋川の出発点

佐屋川をめぐってみたいと思い、まずは東堤を北上した。すると隣接する稲沢市祖父江町中牧に野田川渡船場跡**3**が残っていた。ここに佐屋川があったことを物語っている。さらに北上し木曽川と合流したところ、拾町野周辺が、佐屋川の出発点のようである。今は分離している木曽川と長

輪中の地

再び西堤を南下すると、右側の土地が低いことを改めて感じる。かつて木曽、長良、揖斐の三川が



3



4



5



6



7

- 3 野田川渡船場跡（稲沢市祖父江町中牧）
- 4 西音寺（愛西市藤ヶ瀬町）
- 5 水屋（愛西市赤目町）
- 6 尾張津島天王祭（津島市天王川公園）
- 7 水鶏塚（愛西市佐屋町）

入り混じっていた濃尾平野西部は、周りを川に囲まれた土地や集落が多くあった。教科書でも見られる「輪中」である。佐屋川西側にも間之川や木曾川に囲まれた神明津輪中、立田輪中があり、現在の愛西市八開地区、立田地区にあたる。輪中では堤防で周囲を囲んでいたが、それでも度々水害に遭うため、かつては土台を高くした「水屋」と呼ばれる建物が多くあった。現在もその名残を感じる建物が見られる⁵。

津島神社と尾張津島天王祭

次は東堤を進む。国道 155 号線を横切り県立津島高等学校にたどり着くが、ここはかつて萩原川の流れをくむ「天王川」が佐屋川に合流していたところである。

現在は埋め立てられ、丸池を中心にした公園となっている天王川だが、かつては「津島湊」と呼ばれ、津島から桑名をつなぐ渡船が行き交っていた川である。この天

王川では 600 余年の歴史があり、信長も訪れたという「尾張津島天王祭」⁶が今でも行われている。尾張津島天王祭は津島神社の祭礼である。津島神社は約 3000 社の末社を持つ大社で、東の楼門は豊臣秀吉の寄進、南門は秀頼の依頼で福島正則が建立したと言われている。

佐屋湊

東堤に戻りさらに南に進むと、現在の愛西市佐屋町に着いた。ここにはかつて、東海道の脇往還である佐屋路の宿場、佐屋宿があり、佐屋川を通過して桑名に至る「三里の渡し」の湊（佐屋湊）があった地である。佐屋路は多くの人に利用され、かの松尾芭蕉も佐屋で一泊し、「水鶏鳴くと 人の云えばや 佐屋泊」と詠んでいる。「水鶏塚」⁷は、地元の俳人たちが芭蕉の遺徳を偲んで建立したと言われており、記念碑として現在も残っている。

佐屋川の終着点

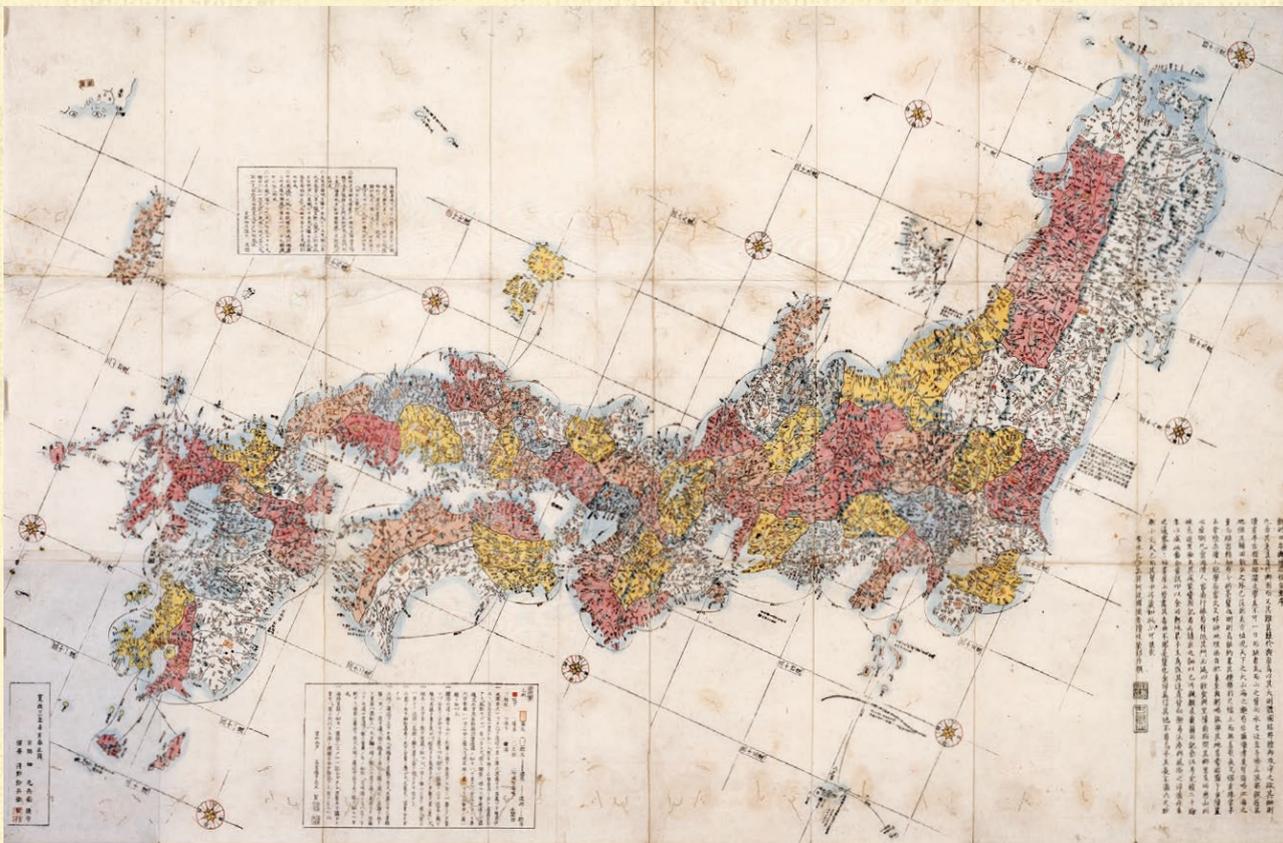
佐屋湊を後に東堤を南下すると、弥富市五明町に着いた。今は大型ショッピングセンターがあるこの地が佐屋川の終着点で、再び木曾川と合流したのである。木曾三川は、江戸時代の宝暦治水、明治時代のヨハニス・デ・レイケによる三川下流改修工事を経て現在に至るが、工事が完了した 1900 年に佐屋川は廃川となった。

今回、佐屋川跡を巡り、地域の様々な史跡が点から線となつてつながった思いである。学校のある地が、かつては多くの人や船が行き交った大川だったことに、地理と歴史のつながりを改めて感じた。子どもたちにも、こうした驚きと発見の喜びを味わわせてあげたいと思う。

●中山 政彦（なかやま まさひこ）
愛西市立佐織西中学校校長

なが く ぼ せき すい
長久保赤水が伊能忠敬より
42年も前に作った日本地図

●長久保赤水顕彰会会長 佐川 春久



▲改正日本輿地路程全図 1791(寛政3)年第2版(4刷目)84.6×128.8cm 高萩市歴史民俗資料館所蔵(長久保赤水顕彰会寄贈)茨城県指定文化財
赤水生存中の最後の集大成地図と考えられている。初版図との大きな違いとしては、海路(港から港までの距離)や部分図(郡名の記入)、図の左上の潮汐考証部の付加などが挙げられる。さらに、地名表記などの情報量も約4200から約6000と飛躍的に増加し、国の色分け彩色も変化した。同じ赤水図でも初版とは、全く別物であることがわかる。赤水が存命中に編集したのはこの第2版図までであり、赤水図はこれで完成した。第3版以降は、第2版の情報をそのまま使用することで刊行されていった。



▲改正日本輿地路程全図(大阪周辺を原寸で表示)



長久保赤水顕彰会
ホームページはこちら



▶長久保赤水像(自画自賛)赤水自筆93.8×43.7cm
高萩市歴史民俗資料館所蔵(長久保甫氏寄贈)重要文化財
赤水は、1782(天明2)年66歳の時、藩主から葵の紋の衣服を賜った。この自画像は、天明2年から6年の間に描かれたものと思われる。

情報を収集して編集した赤水、歩いて測量した忠敬

これまで学校教育で学んできた日本地図の歴史は非常に断片的で、伊能忠敬（1745～1818）が測量した日本地図だけが最も顕著に押し出されてきた。

ところが、忠敬から遡ること42年前に水戸藩の儒学者、長久保赤水（1717～1801）は初の経緯線入りの刊行日本地図『改正日本輿地路程全図』（通称：赤水図）を1779年に完成させ、翌年大阪で発行して、大衆化した。

伊能図は幕府により秘蔵され、実は江戸時代の庶民や幕末の志士たちの目に触れることはなかった。これに対し、赤水図は、江戸時代末期までの約100年間のベストセラーとして版を重ねた。浦賀（神奈川県横須賀市）にペリー艦隊が来た頃も、庶民や志士たちが見ていたのはこの赤水図なのだ。

松下村塾で教えた長州藩吉田松陰も愛用していたことが、故郷・山口の兄への手紙に記されている。忠敬も、測量時に赤水図を携帯していたと測量日記に書き残している。

伊能図との比較で興味深い点はまだある。伊能図は、全国の拠点を歩いた測量図として有名だが、赤水図は、水戸彰考館の各藩国絵図や同時代に活躍した学者の書物のほか、家の前の街道をゆく旅人などから多くの情報を収集して比較検証を重ねた編集図だ。天文学の知識も取り入れ、日本で初めて経緯線が描かれた刊行日本地図として世に出た。

その赤水図を含む資料群が学術的にも高く評価され、2020（令和2）年9月に赤水関係資料693点が国の重要文化財に指定された。

さて、この長久保赤水だが、常陸国赤浜村（現在の茨城県高萩市赤浜）の農民として生を受け、その後勉学を重ねて、晩年には第6代水戸藩主^{はるもり}治保の侍講（学問の師）を務めた。藩主に学問を教えるだけでなく、藩への政策提言を行い、天文学・地理学・農政学者としても幅広い業績を残した。この侍講を担った赤水は、フィロソファー（哲学者）の範疇に入るのである。

赤水は日本地図だけでなく、中国（清）の地図や世界地図、中国歴史地図帳（13図）、蝦夷之図、朝

鮮図なども製作した。最晩年には、徳川光圀が始めた『大日本史』地理志の編さんに従事するよう藩主治保の特命が下った。10年間に及んだ仕事を預けたことは、治保が赤水を手放したくなかった証ともいえる。

赤水図を教材にした授業の実現を

すでに、茨城県高萩市内の中学校や県内の高等学校では、赤水図の原寸大レプリカ（複製）を使った地理教育が実施されている。

伊能図は、沿岸はよく書かれているが内陸部は殆ど空欄である。一方の赤水図には、江戸時代の地理空間情報が満載である。このため、地理・歴史探究の教材としては最適である。全国の先生方にも、ぜひ、この赤水図の原寸大レプリカを使った実践をお願いしたい。日本全国、どこへでも赤水図の5倍拡大タペストリー（床敷き）も持参し、赤水を知っていただく一助になるなら、ボランティアで出向きたいと私は考えている。

赤水が地図製作で大切にしたこと

赤水が地図製作で一貫して重要視したのは、使う人の利便性とわかりやすさである。利用者が携行して動くことを想定しており、赤水図は24分の1の約28×16cmに折り畳める。赤水は現状に相違があると知れば修正を重ね、正しい情報にアップデートする努力を重ねた。距離表示では、10里（約40km）を1寸（約3cm）で表した。地名等を記した頭の一文字目がその位置を示し、一文字が3里（約12km）の距離を示した。一般庶民に広く活用された背景には、赤水の創意工夫とたゆまぬ努力があり、これは今後、大いに評価されていくことだろう。

なお、赤水図凡例の関防印（初めのしるし）に「千古一業」（千年万年、永遠に残る一大事業）とある。赤水が有用な地図製作に生涯をかけた決意表明である。



▲改正日本輿地路程全図
（凡例の右上部分）

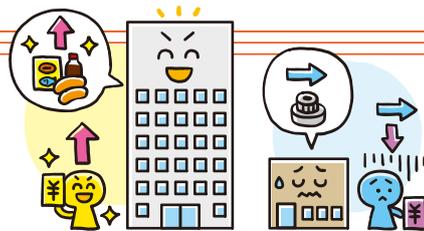
●佐川 春久（さがわ はるひさ）

1949年東京都中央区築地生まれ。茨城県高萩市役所に38年間勤務。県内外で講演、新聞寄稿を多数行う。監修を務めた映画『その先を往け！日本地図の先駆者 長久保赤水』がYouTubeにて公開中。



日本の賃金

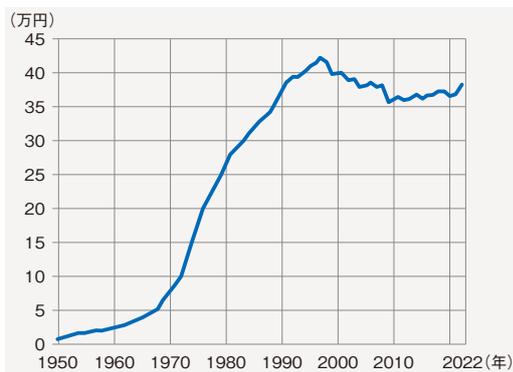
●同志社大学教授 野間 敏克



1. 日本の賃金の推移

前回の社会科NAVIでは、日本の物価について取り上げ、日本銀行も政府も賃金と物価の好循環を願っていると結びました。でも1970年代にインフレが加速していた時期には、賃金と物価の悪循環と呼ばれていたこともあるのです。その違いはどこからくるのでしょうか。

日本の賃金がどのように推移してきたのかを、図1で確認しておきましょう。第二次大戦後からほぼ一貫して増加していた賃金が、1990年代後半から伸び悩むどころか低下していることが分かります。それが25年間近く続き、ようやく2020年代に入って、わずかながら上向きに転じました。



▲ 図1 日本の賃金の長期的推移
*労働政策研究・研修機構「早わかり」グラフでみる長期労働統計、元データは厚生労働省「毎月勤労統計調査」の「現金給与総額」

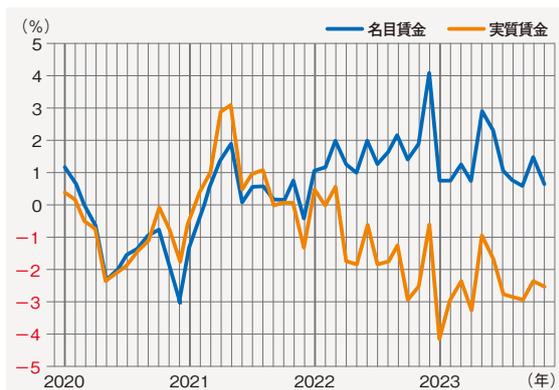
別のデータで近年の賃金動向を示したのが図2です。2本の折れ線グラフが描かれていますが、名目賃金と書かれている青の線からみてください。これは月別の賃金を前年の同じ月と比べての変化率を示したものです。

2020年はコロナ禍が始まりましたから、春以降はマイナスです。しかし2021年になると前年より高い月が現れ、2022、23年は、すべての月でずっとプラス、高い時には4%も賃金が増加しました。久々に日本でも賃金上昇が始まっており、生活が豊かになることが期待されます。

しかしながら、物価上昇のことを考えると、豊

かになったとはとても言えません。賃金の受取金額（名目賃金）が4%上がっても、物価が4%上昇していたら実質的な生活水準は変わらないからです。物価上昇分を差し引いた賃金で考えなくてはならず、それが「実質賃金」です。

図2で実質賃金の変化率をみると、名目賃金がプラスになった2022、23年でもほぼマイナスで、1月にはマイナス4.1%を記録しています。消費者物価指数が名目賃金よりも大きく上昇したからです。図2のグラフは2023年11月までのデータですが、この時点で、もう20ヵ月も実質賃金は減り続けています。なぜ名目賃金が物価ほどには上がってないのでしょうか。

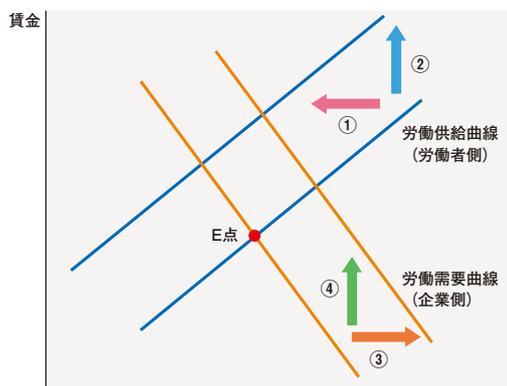


▲ 図2 名目賃金と実質賃金
*「毎月勤労統計調査」の賃金指数と実質賃金指数の前年同月比（変化率）

2. 賃金はどういう場合に上がるのか

労働市場を需要と供給の観点からながめると、供給側の労働者は右上がりの供給曲線、需要側の企業は右下がりの需要曲線を持ち、それらの交点で賃金が決まると考えられます（図3 E点）。

このような見方からすると、供給曲線を左または上にシフトさせるようなことがあれば、賃金は上がります。たとえば人口減少やコロナによる行動変容で人手不足になった場合が左シフトの代表です（図3 ㊶）。また、労働者が受け取りたいと想定している賃金や、転職によって期待される賃金が高い場合は、供給曲線が上にシフトします



▲ 図3 需要と供給からみた労働市場 労働需要・労働供給

(図3②)。自らの技能を向上させ生産性を高めた労働者ほど、そう考えるでしょう。

一方、需要曲線が右または上にシフトしても賃金は上がります。たとえば、自社製品の売上げが増加する場合で、販売数量が増えても販売価格が上がっても、労働需要は増え需要曲線が右にシフトします(図3③)。また、労働力をあまり使わない生産から多く使う生産方法に移行すれば、労働需要は増えるでしょう(図3④)。機械による製造部門の比重が下がり、人的なサービス部門の比重が高まるような場合です。

賃金上がる王道のルートは、需要面からも労働生産性の向上です(図3④)。労働者の価値が高くなることを意味しますから、企業側も利益が増え賃金引き上げに同意します。

もう1つ労働需要曲線に影響を与えるのは、輸入原材料費というコストで、円安だと原材料費支払のために多くの収入が与えられます。その分製品値上げで回収できればよいのですが、前回も触れたように日本企業は値上げに慎重です。海外に製品を売っても、高騰する輸入品に比べてそれほど収入は増えません。

日本が海外に売る品は安く、海外から買う品は高くなることを、「交易条件の悪化」と言います。それによって日本企業の利益が減少し、賃金を上げる余裕はなく労働需要曲線を「下に」シフトさせている可能性があります。

3. 物価上昇に追いつかない賃金上昇

以上のように考えてくると、労働供給の面から

●野間 敏克 (のまとしかつ)

専門/地域金融

主要著書/『金融と社会』(放送大学教育振興会、2020年)、『金融の仕組みと働き』(有斐閣、2017年、共著)、『入門・日本経済第6版』(有斐閣、2020年、分担執筆)など
日本文教出版『中学社会』著者



は賃金上がる要素が数多くあります。でも労働需要の面からは、コロナ後の売上回復という好環境はあるものの、交易条件の悪化による企業利益の海外流出と、高くなった原材料費を製品価格に転嫁し切れていないことが、賃金引き上げの足をひっぱりそうです。

交易条件の悪化と価格転嫁の難しさに悩まされているのは、大企業よりも中小企業です。コロナ後の大企業は経営が改善し、高くなった原材料費を価格に転嫁して、高い利益を上げています。食品など私たちが日常買っている消費財には大企業製品も多く、ここ1,2年で値上げラッシュと言えるほど上がりました。

しかし、下請け部品などいわゆる中間財を作っているような中小企業は、価格引き上げを取引先に受け入れてもらうことに苦労しています。原材料費高騰の分を、賃金抑制で補っている状態の企業さえみられます。日本企業の99.8%を占める中小企業で、どのように賃上げを進めていくのが、最も大きな課題となっています。

4. 賃金は物価を超えられるか

中小企業が価格転嫁を進めることができたなら、中小企業にも賃上げの可能性が広がります。しかしその代わり、当然ながら物価は一段と上がります。

「交易条件の悪化」として紹介したように、物価が上がる一方で企業利益が海外に流出しています。このような状況で、賃金上昇が物価上昇を超えることは非常に難しいと言わざるをえません。もし超えられるとしたら、それは生産性上昇に導かれた賃金上昇以外には考えられず、教育、研修やリスクリングの大切さがあらためて強調されています。

県民衛星「すいせん」 で福井を守る

●株式会社ネスティ



<https://www.un.org/sustainabledevelopment/news/communications-material/>
The content of this publication has not been approved by the United Nations and does not reflect the views of the United Nations or its officials or Member States.

地方のIT企業が 宇宙産業に?

当社は1983(昭和58)年創業のソフトウェア開発会社で、主に法人向けの業務システムを開発しています。主力製品の総合スポーツクラブシステムは業界シェア1位、人材ビジネス支援システムは2位、また、クラウド型サービスにもいち早く取り組み、現在もシェアを拡大しています。

そんな当社において、現在第3の柱として育ちつつあるのが、衛星画像利用システムです。全く畑違いのシステムを開発していた当社が、宇宙関連産業に進出するきっかけとなったのは、社長の一言でした。

繊維やメガネに次ぐ基幹産業を模索する福井県に、人工衛星の製造を提案したのは2014(平成26)年。「超小型衛星であれば、製造から打ち上げまで10億円以



▲ 河川の土砂堆積監視(日野川の浚渫工事前後比較)

下で可能だ!間違いなく市場は伸びる」と社長が県と一緒に地元企業を説得し、県内外の企業でつくる「福井県民衛星技術研究組合」を設立し、理事長に就任しました。県も、衛星の試験設備を導入するなど研究開発を後押しした結果、2021(令和3)年3月に自治体としては全国初、県民衛星「すいせん」の打ち上げに成功しました。

衛星画像の特性を活かし、新たな防災システム開発

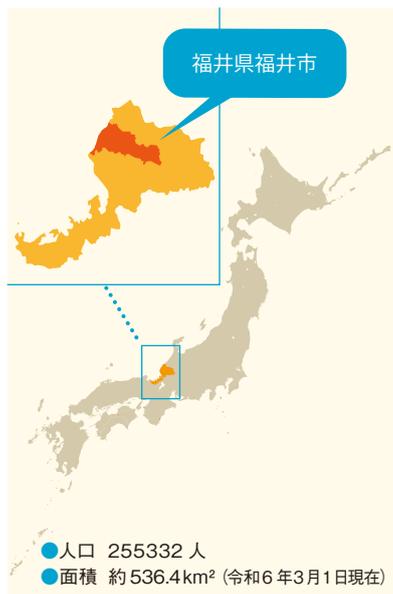
「すいせん」は超小型地球観測衛星で、2週間に1度の頻度で同じ地点を撮影できます。加えて、衛星技術研究組合メンバーで宇宙関連ベンチャーのアクセラレーター(本社・東京)が運用する他の衛星4基からも画像提供を受けており、同じ地点の衛星画像は2日に1回程度の頻度で入手できます。これらの画像を使用し、同一地点における別時点の画像を比較することで、地形の変化を抽出す

ることができるシステムを開発しました。このシステムとさまざまなデータを活用し、いろいろな分野において役立てようと、県とともに実証事業を進めています。

防災分野においては、河川の土砂堆積状況を定点監視できるアプリを開発し、近年増加している突如の豪雨による河川氾濫を未然に防ぐべく活用しています。また、すいせんの画像と、地面からの高さを観測できる他の衛星(ALOS)から取得したデータを組み合わせることで、立体的に地形を把握することが可能となるアプリを開発し、山地などの地形の変化を監視することにより、土砂災害が起きる可能性が高い地点の検出を目指しています。

衛星画像の活用は未知数 さまざまな分野に期待

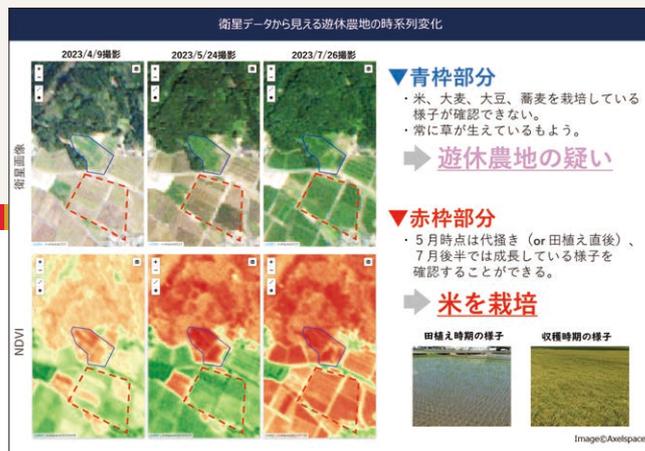
福井県池田町では、森林の無届伐採管理に使用しています。これまで、広大な面積の森林を町職員





▲ 麦の収穫時期予測

が目視で確認していましたが、このシステムを活用することで、大幅な業務効率化に繋がっています。その他具体的に衛星画像の利用が進んでいる分野が農業です。まず、県農業試験場と共同で、大麦（六条大麦の収穫量全国1位）の収穫時期の予測に活用する実証事業を2022年度から実施しています。大麦は収穫時期が近づくにつれて種子の水分量が減る特性があり、大麦の活性度を可視化できるアプリを開発することで、種子



▲ 遊休農地パトロール

の水分量を衛星画像をもとに確認できることに成功しました。これに伴い、衛星画像を解析するだけで大麦の収穫に適した時期を予測できるようになり、これまで県職員が定期的に各地の麦畑に赴き水分量を測定していた手間を省くことに繋がりました。

また、福井県坂井市と共同で開発した、遊休農地を自動判定するアプリにより、地図上で農地の利用状況を可視化することができ、これまで市職員が農地法に基づき

実施していた現地調査の業務を最大9割削減できる見込みで、作業負担の軽減とともに農地を守るという本来の目的にも寄与することが期待されています。

衛星画像の活用は、今後さまざまな分野への広がりが期待できます。当社は、システム開発を通じて地元福井に貢献していきたいと考えています。

● 問い合わせ先
株式会社ネスティ
nesty@nesty-g.co.jp

教材化のポイント



● 広島修道大学教授 永田 成文

1. 地方企業の挑戦による持続可能な社会づくり

地方のIT企業が超小型衛星の開発に挑戦し、地域の自治体や他企業との協力により、衛星同士や衛星とアプリとの連動が可能になった。衛星画像の活用は持続可能な社会づくりに役立っている。

時系列の衛星画像の分析から、地形の変化による危険性を地域住民に周知することで、気候変動に起因する集中豪雨による土砂災害や河川氾濫による災害を軽減できる。また、衛星画像は森林などの土地管理や農産物の収穫にも活用されている。これらの取り組みは、SDGsの13「気候変動に具体的な対策を」と15「陸の豊かさを守ろう」とかかわる。

人工衛星システムの開発そのものは、9「産業と技術革新の基盤をつくろう」とかかわり、人口減少社会の中で労働の手間を省くことに意義がある。

2. 現代社会の情報化にかかわる衛星画像の活用

小学校社会科第4学年の「自然災害から人々を守る活動」で、企業と行政の協力による衛星画像を活用することで地域の防災に役立っていること、第5学年の「我が国の農業や水産業における食料生産」で、食料を確保するための技術の向上として衛星画像の活用を取り上げて省力化につなげたい。

中学校社会科公民的分野の「私たちが生きる現代社会と文化の特色」の情報化の事例で、データ分析が災害予測を可能としていることに着目させたい。

● 永田 成文 (ながたしげふみ)

小・中・高等学校の教員、三重大学の教員を経て、現在、広島修道大学教授 専門は社会科教育学（地理 ESD 授業）



日本文教出版 各種資料のご案内

令和6年度版
小学校

デジタル教科書・教材

POINT

理解を深める映像コンテンツが豊富
好評の「凡例別表示」もしっかり網羅



▲凡例別表示



▲見開きの学習の流れがわかる1文節表示

中学校

社会科NAVIプラス



my実践事例



指導と評価の一体化、ポートフォリオを活用した学習方法と学習評価、一人一台端末の活用方法、SDGsの4テーマについてわかりやすく解説



全国の先生の発表の場として、日文サイトに実践事例を掲載！

社会科NAVI Vol.37

日文教育資料 [小・中学校社会]
令和6年(2024年)4月30日発行

編集・発行人 佐々木 秀樹

日本文教出版株式会社
〒558-0041 大阪市住吉区南住吉 4-7-5
TEL: 06-6692-1261
FAX: 06-6606-5171

本書の無断転載・複製を禁じます。

CD33711

日本文教出版株式会社

<https://www.nichibun-g.co.jp/>

大阪本社 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉 4-7-5
TEL: 06-6692-1261 FAX: 06-6606-5171

東京本社 〒165-0026 東京都中野区新井 1-2-16
TEL: 03-3389-4611 FAX: 03-3389-4618

九州支社 〒810-0022 福岡市中央区薬院 3-11-14
TEL: 092-531-7696 FAX: 092-521-3938

東海支社 〒461-0004 名古屋市東区葵 1-13-18-7F-B
TEL: 052-979-7260 FAX: 052-979-7261

北海道出張所 〒001-0909 札幌市北区新琴似 9-12-1-1
TEL: 011-764-1201 FAX: 011-764-0690